

**次期総合振興計画
まちづくり市民アンケート
調査報告書**

本庄市

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査設計	1
(3) 調査結果の留意点	1
2. 調査結果	2
(1) 定住意向について	2
(2) 本庄市のまちづくりの満足度について	19
(3) 今後のまちづくりと本庄市の将来像について.....	32
(4) これからのまちづくりに関するご意見等.....	39
(5) 回答者属性	42
資料 まちづくり市民アンケート調査票	47

1. 調査概要

(1) 調査の目的

次期本庄市総合振興計画の策定にあたり、市民の意向等を把握し、計画づくりに反映させることを目的とするものです。

(2) 調査設計

調査対象	市内在住の18歳以上の男女2,500人
調査方法	郵送配布、郵送回収およびインターネット回収
実施期間	平成28年9月～平成28年10月
回収数	1,179票(47.2%)

(3) 調査結果の留意点

回答の割合は、選択肢ごとに小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合があります。複数回答可の設問の場合、すべての回答割合を合計すると100%を超える場合があります。

集計結果のグラフのNの値は当該質問の回答者数を示しています。

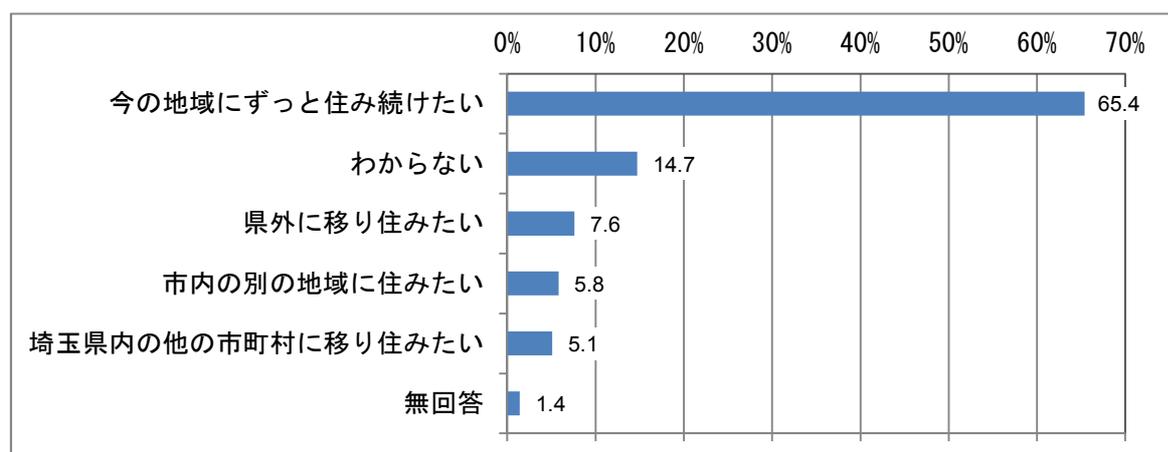
2. 調査結果

(1) 定住意向について

設問① あなたは、今後も本庄市に住み続けたいですか。〈1つ選択〉

- ・「今の地域にずっと住み続けたい」を挙げる人が 65.4%と最も多く、次いで「わからない」を挙げる人が 14.7%を占めています。
- ・本市からの転出意向（「埼玉県内の他の市町村に移り住みたい」「県外に移り住みたい」）を示す人は全体の 12.7%を占めています。
- ・年齢別にみると、本市への定住意向（「今の地域にずっと住み続けたい」「市内の別の地域に住みたい」）を挙げる人の割合は、年齢が上がるごとに増加しています。20 歳代以上は 50%を超えています。
- ・居住地区別にみると、本市への定住意向を挙げる人の割合は共和小学校区が 66.0%と最も低く、仁手小学校区が 86.9%と最も高くなっています。

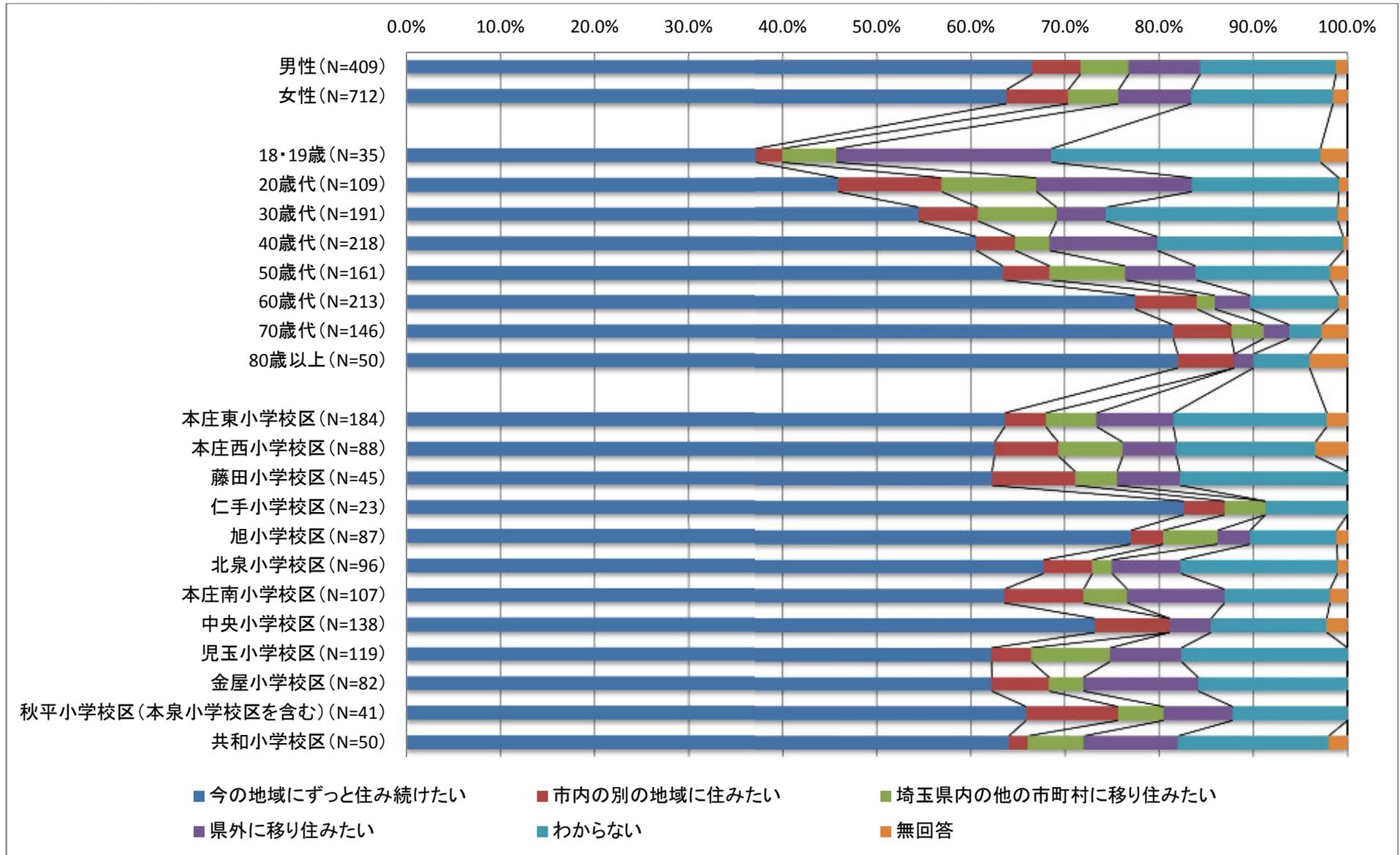
	基数	割合
今の地域にずっと住み続けたい	771	65.4%
わからない	173	14.7%
県外に移り住みたい	90	7.6%
市内の別の地域に住みたい	68	5.8%
埼玉県内の他の市町村に移り住みたい	60	5.1%
無回答	17	1.4%
回答数	1,179	100%



■今後の定住意向

		今の地域に ずっと住み 続けたい	市内の別の 地域に住み たい	埼玉県内の 他の市町村 に移り住み たい	県外に移り 住みたい	わからない	無回答
総数(N=1179)		65.4%	5.8%	5.1%	7.6%	14.7%	1.4%
性別	男性(N=409)	66.5%	5.1%	5.1%	7.6%	14.4%	1.2%
	女性(N=712)	63.8%	6.6%	5.3%	7.7%	15.0%	1.5%
年齢	18・19歳(N=35)	37.1%	2.9%	5.7%	22.9%	28.6%	2.9%
	20歳代(N=109)	45.9%	11.0%	10.1%	16.5%	15.6%	0.9%
	30歳代(N=191)	54.5%	6.3%	8.4%	5.2%	24.6%	1.0%
	40歳代(N=218)	60.6%	4.1%	3.7%	11.5%	19.7%	0.5%
	50歳代(N=161)	63.4%	5.0%	8.1%	7.5%	14.3%	1.9%
	60歳代(N=213)	77.5%	6.6%	1.9%	3.8%	9.4%	0.9%
	70歳代(N=146)	81.5%	6.2%	3.4%	2.7%	3.4%	2.7%
	80歳以上(N=50)	82.0%	6.0%	0.0%	2.0%	6.0%	4.0%
居住地区 (小学校 区単位)	本庄東小学校区(N=184)	63.6%	4.3%	5.4%	8.2%	16.3%	2.2%
	本庄西小学校区(N=88)	62.5%	6.8%	6.8%	5.7%	14.8%	3.4%
	藤田小学校区(N=45)	62.2%	8.9%	4.4%	6.7%	17.8%	0.0%
	仁手小学校区(N=23)	82.6%	4.3%	4.3%	0.0%	8.7%	0.0%
	旭小学校区(N=87)	77.0%	3.4%	5.7%	3.4%	9.2%	1.1%
	北泉小学校区(N=96)	67.7%	5.2%	2.1%	7.3%	16.7%	1.0%
	本庄南小学校区(N=107)	63.6%	8.4%	4.7%	10.3%	11.2%	1.9%
	中央小学校区(N=138)	73.2%	8.0%	0.0%	4.3%	12.3%	2.2%
	児玉小学校区(N=119)	62.2%	4.2%	8.4%	7.6%	17.6%	0.0%
	金屋小学校区(N=82)	62.2%	6.1%	3.7%	12.2%	15.9%	0.0%
	秋平小学校区(本泉小学校区 を含む)(N=41)	65.9%	9.8%	4.9%	7.3%	12.2%	0.0%
	共和小学校区(N=50)	64.0%	2.0%	6.0%	10.0%	16.0%	2.0%

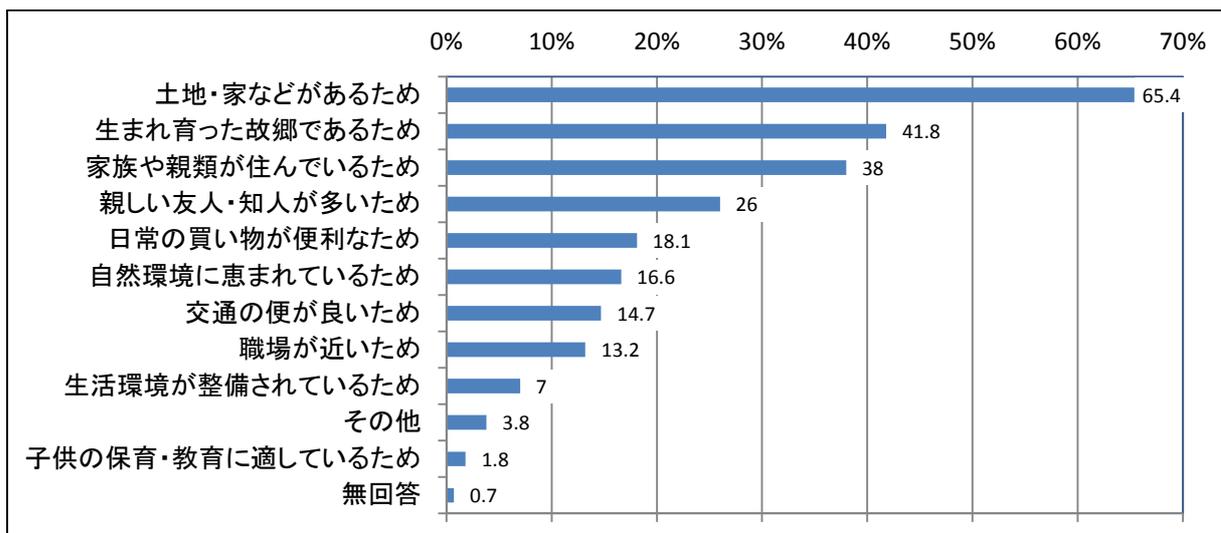
■今後の定住意向



設問② 住み続けたい主な理由は何ですか。 <(1)設問①で「今の地域にずっと住み続けたい」または「市内の別の地域に住みたい」を選択した人が対象。3つまで>

- ・「土地・家などがあるため」を挙げる人が65.4%と最も多く、次いで「生まれ育った故郷であるため」を挙げる人が41.8%、「家族や親類が住んでいるため」を挙げる人が38.0%を占めています。
- ・年齢別に最も多い回答をみると、18・19歳代及び20歳代では「生まれ育った故郷であるため」を挙げる人が最も多く、30歳代から80歳代では、「土地・家などがあるため」を挙げる人が最も多くなっています。
- ・居住地区別に最も多い回答をみると、すべての地区で「土地・家などがあるため」が最も多くなっています。

	基数	割合
土地・家などがあるため	549	65.4%
生まれ育った故郷であるため	351	41.8%
家族や親類が住んでいるため	319	38.0%
親しい友人・知人が多いため	218	26.0%
日常の買い物が便利のため	152	18.1%
自然環境に恵まれているため	139	16.6%
交通の便が良いため	123	14.7%
職場が近いため	111	13.2%
生活環境が整備されているため	59	7.0%
その他	32	3.8%
子供の保育・教育に適しているため	15	1.8%
無回答	6	0.7%
回答数	839	100.0%



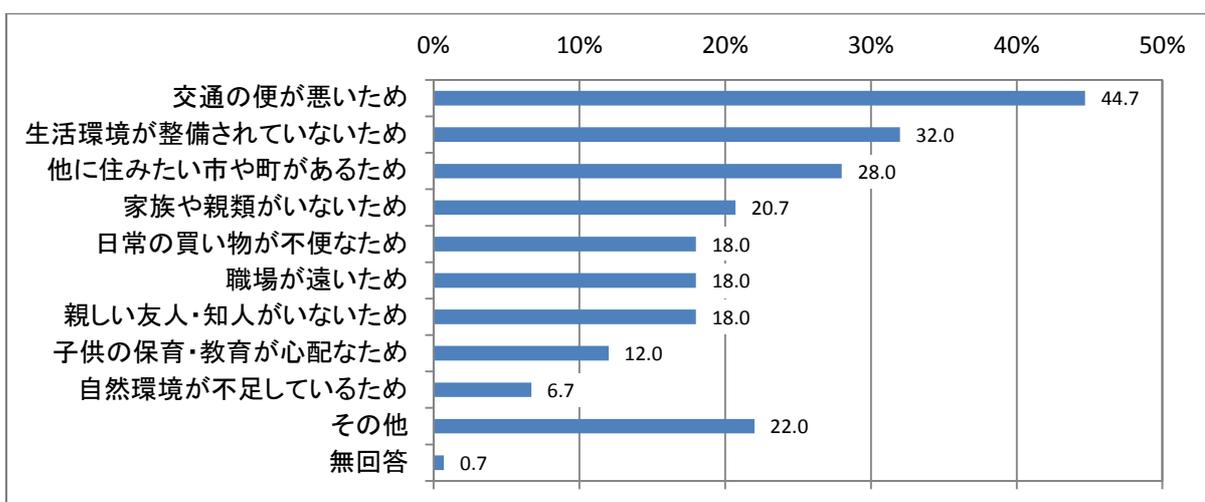
■住み続けたい主な理由

		生まれ育った故郷であるため	家族や親類が住んでいるため	親しい友人・知人が多いため	土地・家などがあるため	職場が近い	自然環境に恵まれているため	交通の便が良い	日常の買い物が便利	生活環境が整備されているため	子供の保育・教育に適しているため	その他	無回答
総数(N=839)		41.8%	38.0%	26.0%	65.4%	13.2%	16.6%	14.7%	18.1%	7.0%	1.8%	3.8%	0.7%
性別	男性(N=293)	50.2%	28.7%	23.9%	64.2%	18.1%	12.6%	17.4%	17.7%	8.2%	3.1%	4.4%	0.7%
	女性(N=501)	37.9%	43.9%	26.7%	66.3%	10.0%	19.8%	12.4%	17.0%	6.6%	1.2%	3.6%	0.8%
年齢	18・19歳(N=14)	85.7%	71.4%	21.4%	21.4%	7.1%	14.3%	0.0%	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%
	20歳代(N=62)	53.2%	51.6%	30.6%	32.3%	24.2%	4.8%	14.5%	17.7%	1.6%	6.5%	1.6%	0.0%
	30歳代(N=116)	45.7%	42.2%	19.8%	60.3%	22.4%	12.1%	13.8%	12.9%	3.4%	2.6%	6.0%	0.0%
	40歳代(N=141)	40.4%	39.0%	21.3%	70.9%	22.0%	14.2%	19.1%	14.9%	6.4%	2.8%	2.1%	0.0%
	50歳代(N=110)	36.4%	32.7%	20.0%	73.6%	13.6%	10.9%	11.8%	17.3%	5.5%	1.8%	3.6%	0.9%
	60歳代(N=179)	41.3%	35.2%	29.1%	73.2%	7.8%	25.7%	15.1%	19.0%	8.9%	0.6%	5.0%	0.0%
	70歳代(N=128)	38.3%	29.7%	27.3%	70.3%	0.8%	25.0%	13.3%	19.5%	11.7%	0.0%	3.9%	3.1%
	80歳以上(N=44)	38.6%	43.2%	43.2%	59.1%	0.0%	15.9%	11.4%	22.7%	11.4%	0.0%	2.3%	2.3%
居住地区(小学校区単位)	本庄東小学校区(N=125)	39.2%	41.6%	28.8%	64.0%	11.2%	15.2%	20.0%	20.0%	8.8%	0.8%	5.6%	0.0%
	本庄西小学校区(N=61)	42.6%	29.5%	26.2%	50.8%	9.8%	14.8%	23.0%	18.0%	11.5%	3.3%	8.2%	0.0%
	藤田小学校区(N=32)	46.9%	43.8%	37.5%	87.5%	15.6%	6.3%	3.1%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	仁手小学校区(N=20)	55.0%	50.0%	25.0%	90.0%	15.0%	5.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%
	旭小学校区(N=70)	40.0%	41.4%	18.6%	77.1%	14.3%	15.7%	8.6%	17.1%	11.4%	2.9%	2.9%	0.0%
	北泉小学校区(N=70)	35.7%	41.4%	24.3%	75.7%	12.9%	18.6%	17.1%	21.4%	7.1%	2.9%	2.9%	0.0%
	本庄南小学校区(N=77)	42.9%	35.1%	24.7%	68.8%	13.0%	7.8%	18.2%	22.1%	3.9%	1.3%	3.9%	0.0%
	中央小学校区(N=112)	45.5%	31.3%	30.4%	58.0%	11.6%	13.4%	28.6%	23.2%	10.7%	1.8%	1.8%	0.9%
	児玉小学校区(N=79)	39.2%	38.0%	26.6%	63.3%	21.5%	17.7%	5.1%	21.5%	1.3%	1.3%	5.1%	0.0%
	金屋小学校区(N=56)	42.9%	42.9%	26.8%	75.0%	5.4%	33.9%	3.6%	5.4%	5.4%	1.8%	1.8%	1.8%
	秋平小学校区(本泉小学校区を含む)(N=31)	45.2%	29.0%	16.1%	61.3%	19.4%	45.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	0.0%
	共和小学校区(N=33)	60.6%	39.4%	30.3%	69.7%	6.1%	24.2%	9.1%	9.1%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%

設問③ 住み続けたくない主な理由は何ですか。＜（１）設問①で「埼玉県内の他の市町村に移り住みたい」または「県外に移り住みたい」を選択した人が対象。３つまで＞

- ・「交通の便が悪いため」を挙げる人が 44.7%と最も多く、次いで「生活環境が整備されていないため」を挙げる人が 32.0%、「他に住みたい市や町があるため」を挙げる人が 28.0%を占めています。
- ・年齢別に最も多い回答をみると、40 歳代を除いたすべての年代で「交通の便が悪いため」が挙げられており、40 歳代では「他に住みたい市や町があるため」を挙げる人が最も多くなっています。また、30 歳代では「生活環境が整備されていないため」が、70 歳代では「家族や親類がいないため」がそれぞれ同率一位で挙げられています。
- ・居住地区別に最も多い回答をみると、本庄西・藤田・仁手・本庄南・中央・児玉の各小学校区で「交通の便が悪いため」が挙げられており、旭・北泉・金屋の各小学校区では「他に住みたい市や町があるため」が挙げられています。秋平小学校区では「日常の買い物が不便なため」を挙げる人が最も多くなっています。共和小学校区では「交通の便が悪いため」「日常の買い物が不便なため」「他に住みたい市や町があるため」が同率一位で挙げられています。

	基数	割合
交通の便が悪いため	67	44.7%
生活環境が整備されていないため	48	32.0%
他に住みたい市や町があるため	42	28.0%
家族や親類がいないため	31	20.7%
親しい友人・知人がいないため	27	18.0%
職場が遠いため	27	18.0%
日常の買い物が不便なため	27	18.0%
子供の保育・教育が心配なため	18	12.0%
自然環境が不足しているため	10	6.7%
その他	33	22.0%
無回答	1	0.7%
回答数	150	100.0%



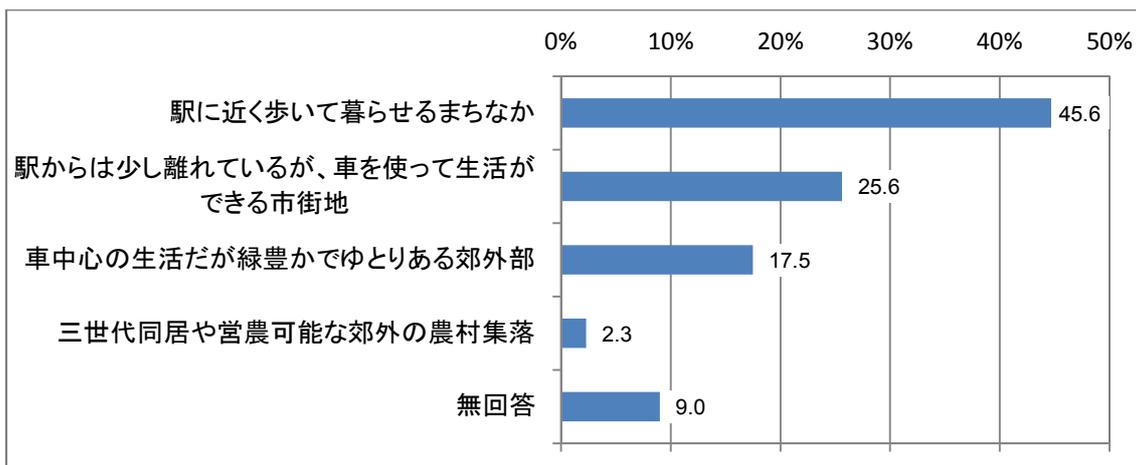
■住み続けたくない主な理由

		家族や親類がいないため	親しい友人・知人がいないため	職場が遠いため	自然環境が不足しているため	交通の便が悪いため	日常の買い物が不便なため	生活環境が整備されていないため	子供の保育・教育が心配なため	他に住みたい市や町があるため	その他	無回答
総数 (N=150)		20.7%	18.0%	18.0%	6.7%	44.7%	18.0%	32.0%	12.0%	28.0%	22.0%	0.7%
性別	男性 (N=52)	15.4%	17.3%	26.9%	3.8%	42.3%	11.5%	34.6%	11.5%	32.7%	13.5%	1.9%
	女性 (N=93)	21.5%	17.2%	12.9%	8.6%	46.2%	21.5%	30.1%	12.9%	25.8%	28.0%	0.0%
年齢	18・19歳 (N=10)	10.0%	0.0%	30.0%	10.0%	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%
	20歳代 (N=29)	10.3%	27.6%	31.0%	0.0%	44.8%	20.7%	20.7%	6.9%	27.6%	17.2%	0.0%
	30歳代 (N=26)	19.2%	7.7%	30.8%	7.7%	42.3%	15.4%	42.3%	30.8%	26.9%	19.2%	0.0%
	40歳代 (N=33)	21.2%	12.1%	6.1%	6.1%	39.4%	15.2%	36.4%	12.1%	42.4%	18.2%	0.0%
	50歳代 (N=25)	24.0%	20.0%	16.0%	8.0%	36.0%	16.0%	28.0%	8.0%	20.0%	32.0%	0.0%
	60歳代 (N=12)	8.3%	25.0%	0.0%	16.7%	75.0%	25.0%	58.3%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	70歳代 (N=9)	44.4%	33.3%	0.0%	0.0%	44.4%	33.3%	22.2%	0.0%	22.2%	22.2%	11.1%
	80歳以上 (N=1)	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
居住地区 (小学校区単位)	本庄東小学校区 (N=25)	28.0%	16.0%	20.0%	12.0%	24.0%	16.0%	24.0%	4.0%	24.0%	36.0%	0.0%
	本庄西小学校区 (N=11)	18.2%	27.3%	27.3%	0.0%	63.6%	18.2%	54.5%	27.3%	18.2%	9.1%	0.0%
	藤田小学校区 (N=5)	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%
	仁手小学校区 (N=1)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	旭小学校区 (N=8)	25.0%	12.5%	12.5%	0.0%	50.0%	25.0%	37.5%	12.5%	62.5%	37.5%	0.0%
	北泉小学校区 (N=9)	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%	33.3%	0.0%	11.1%	22.2%	44.4%	22.2%	0.0%
	本庄南小学校区 (N=16)	25.0%	12.5%	25.0%	6.3%	56.3%	18.8%	25.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%
	中央小学校区 (N=6)	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	50.0%	16.7%	0.0%
	尻玉小学校区 (N=19)	31.6%	36.8%	21.1%	0.0%	63.2%	21.1%	42.1%	26.3%	5.3%	15.8%	0.0%
	金屋小学校区 (N=13)	15.4%	7.7%	15.4%	0.0%	38.5%	15.4%	38.5%	0.0%	46.2%	15.4%	0.0%
	秋平小学校区 (本泉小学校区を含む) (N=5)	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	40.0%	60.0%	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%
共和小学校区 (N=8)	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	37.5%	37.5%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%	0.0%	

設問④ もし、本庄市内で住み替えるとしたらどのような地域に住みたいですか。〈1つ選択〉

- ・「駅に近く歩いて暮らせるまちなか」を挙げる人が45.6%と最も多く、次いで「駅からは少し離れているが、車を使って生活ができる市街地」を挙げる人が25.6%を占めています。
- ・年齢別に最も多い回答をみると、「駅に近く歩いて暮らせるまちなか」を挙げる人が最も多くなっています。
- ・居住地区別に最も多い回答を見ると、仁手・本庄南小学校区では「駅からは少し離れているが、車を使って生活ができる市街地」を挙げる人が最も多く、上記2地区を除いたすべての地区で「駅に近く歩いて暮らせるまちなか」を挙げる人が最も多くなっています。

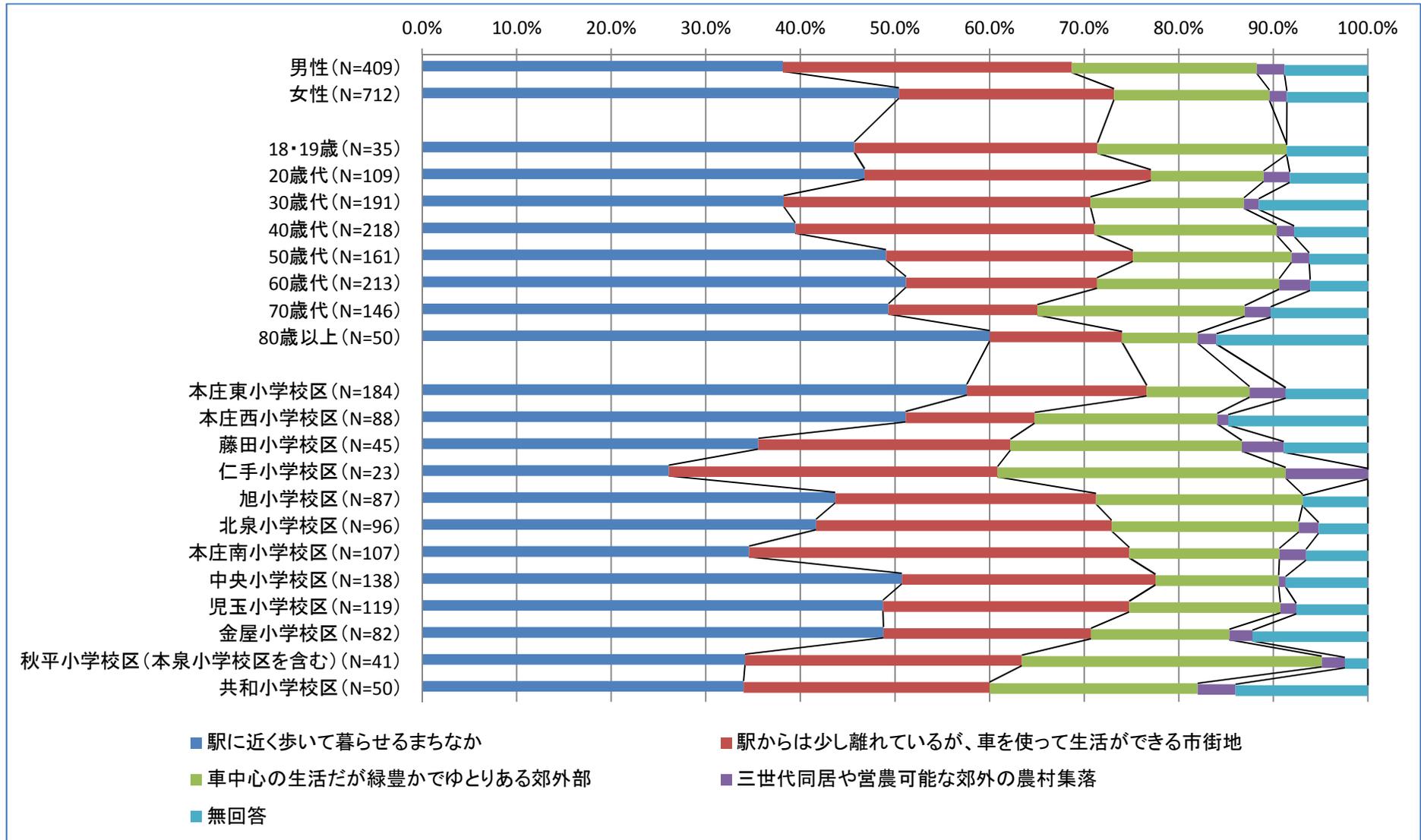
	基数	割合
駅に近く歩いて暮らせるまちなか	538	45.6%
駅からは少し離れているが、車を使って生活ができる市街地	302	25.6%
車中心の生活だが緑豊かでゆとりある郊外部	206	17.5%
三世代同居や営農可能な郊外の農村集落	27	2.3%
無回答	106	9.0%
回答数	1,179	100.0%



■ 住み替えたい地域

		駅に近く 歩いて暮 らせるま ちなか	駅からは 少し離れ ているが、 車を使っ て生活が できる市 街地	車中心の 生活だが 緑豊かで ゆとりあ る郊外部	三世帯同 居や営農 可能な郊 外の農村 集落	無回答
総数(N=1179)		45.6%	25.6%	17.5%	2.3%	9.0%
性別	男性(N=409)	38.1%	30.6%	19.6%	2.9%	8.8%
	女性(N=712)	50.4%	22.8%	16.4%	1.8%	8.6%
年齢	18・19歳(N=35)	45.7%	25.7%	20.0%	0.0%	8.6%
	20歳代(N=109)	46.8%	30.3%	11.9%	2.8%	8.3%
	30歳代(N=191)	38.2%	32.5%	16.2%	1.6%	11.5%
	40歳代(N=218)	39.4%	31.7%	19.3%	1.8%	7.8%
	50歳代(N=161)	49.1%	26.1%	16.8%	1.9%	6.2%
	60歳代(N=213)	51.2%	20.2%	19.2%	3.3%	6.1%
	70歳代(N=146)	49.3%	15.8%	21.9%	2.7%	10.3%
	80歳以上(N=50)	60.0%	14.0%	8.0%	2.0%	16.0%
居住地区 (小学校 区単位)	本庄東小学校区(N=184)	57.6%	19.0%	10.9%	3.8%	8.7%
	本庄西小学校区(N=88)	51.1%	13.6%	19.3%	1.1%	14.8%
	藤田小学校区(N=45)	35.6%	26.7%	24.4%	4.4%	8.9%
	仁手小学校区(N=23)	26.1%	34.8%	30.4%	8.7%	0.0%
	旭小学校区(N=87)	43.7%	27.6%	21.8%	0.0%	6.9%
	北泉小学校区(N=96)	41.7%	31.3%	19.8%	2.1%	5.2%
	本庄南小学校区(N=107)	34.6%	40.2%	15.9%	2.8%	6.5%
	中央小学校区(N=138)	50.7%	26.8%	13.0%	0.7%	8.7%
	児玉小学校区(N=119)	48.7%	26.1%	16.0%	1.7%	7.6%
	金屋小学校区(N=82)	48.8%	22.0%	14.6%	2.4%	12.2%
	秋平小学校区(本泉小学校区 を含む)(N=41)	34.1%	29.3%	31.7%	2.4%	2.4%
	共和小学校区(N=50)	34.0%	26.0%	22.0%	4.0%	14.0%

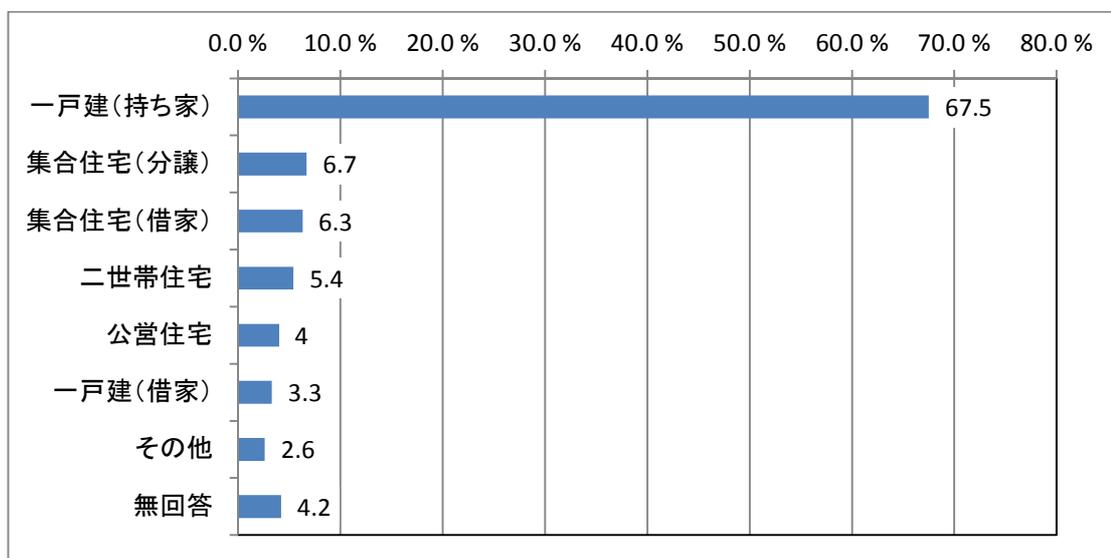
■ 住み替えたい地域



設問⑤ もし、これから本庄市内で住み替えるとしたらどのような住宅を希望しますか。〈1つ選択〉

- ・「一戸建（持ち家）」を挙げる人が 67.5%と最も多く、次いで「集合住宅（分譲）」を挙げる人が 6.7%、「集合住宅（借家）」を挙げる人が 6.3%を占めています。
- ・年齢別・居住地区別に最も多い回答をみても、すべての属性で「一戸建（持ち家）」が最も多くなっています。

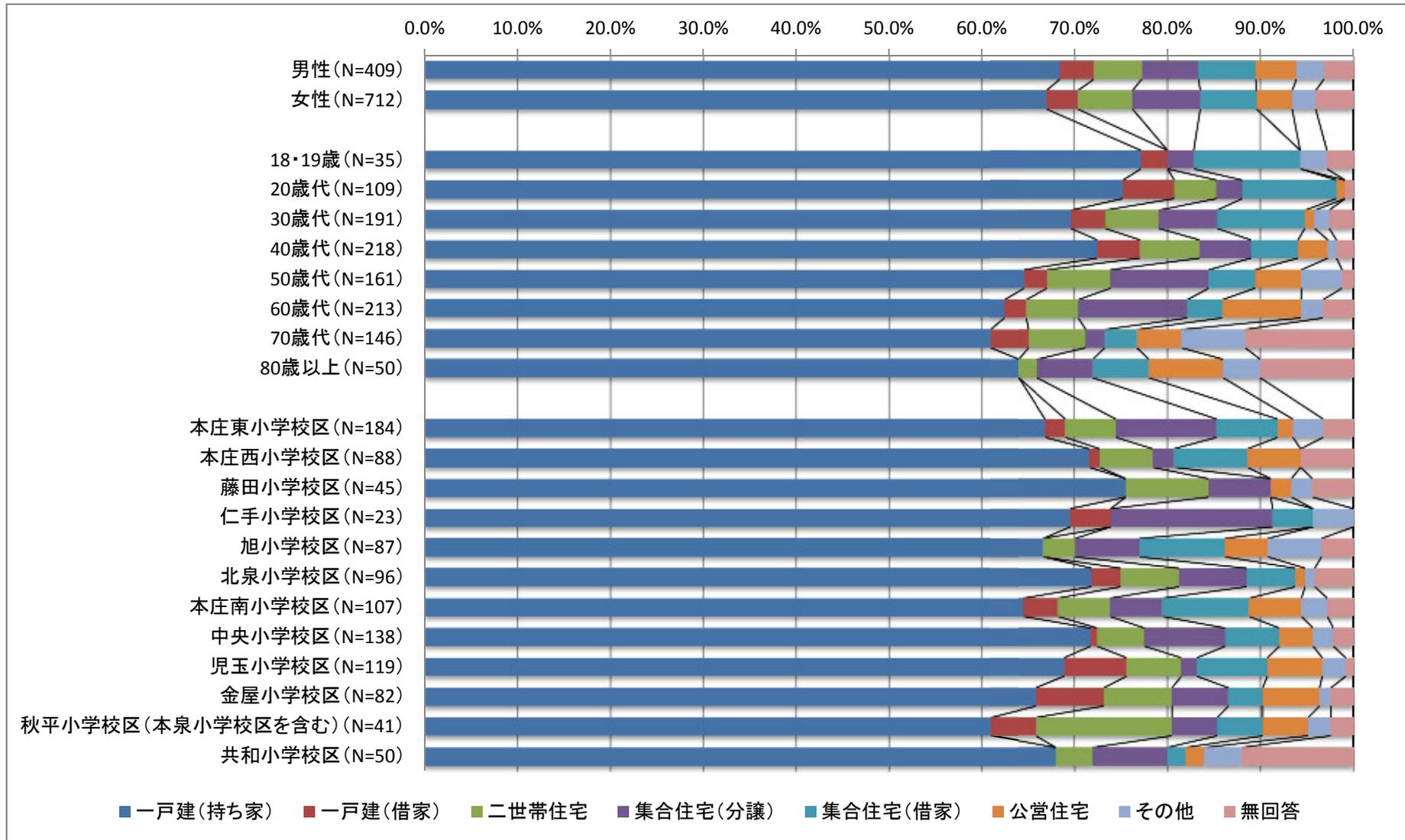
	基数	割合
一戸建(持ち家)	796	67.5 %
集合住宅(分譲)	79	6.7 %
集合住宅(借家)	74	6.3 %
二世帯住宅	64	5.4 %
公営住宅	47	4.0 %
一戸建(借家)	39	3.3 %
その他	31	2.6 %
無回答	49	4.2 %
総数	1,179	100.0 %



■ 住み替え住宅の種類

		一戸建 (持ち家)	一戸建 (借家)	二世帯住 宅	集合住宅 (分譲)	集合住宅 (借家)	公営住宅	その他	無回答
総数 (N=1179)		67.5%	3.3%	5.4%	6.7%	6.3%	4.0%	2.6%	4.2%
性別	男性 (N=409)	68.5%	3.7%	5.1%	6.1%	6.1%	4.4%	2.9%	3.2%
	女性 (N=712)	67.0%	3.4%	5.9%	7.3%	6.0%	3.8%	2.5%	4.1%
年齢	18・19歳 (N=35)	77.1%	2.9%	0.0%	2.9%	11.4%	0.0%	2.9%	2.9%
	20歳代 (N=109)	75.2%	5.5%	4.6%	2.8%	10.1%	0.9%	0.0%	0.9%
	30歳代 (N=191)	69.6%	3.7%	5.8%	6.3%	9.4%	1.0%	1.6%	2.6%
	40歳代 (N=218)	72.5%	4.6%	6.4%	5.5%	5.0%	3.2%	0.9%	1.8%
	50歳代 (N=161)	64.6%	2.5%	6.8%	10.6%	5.0%	5.0%	4.3%	1.2%
	60歳代 (N=213)	62.4%	2.3%	5.6%	11.7%	3.8%	8.5%	2.3%	3.3%
	70歳代 (N=146)	61.0%	4.1%	6.2%	2.1%	3.4%	4.8%	6.8%	11.6%
	80歳以上 (N=50)	64.0%	0.0%	2.0%	6.0%	6.0%	8.0%	4.0%	10.0%
居住地区 (小学校 区単位)	本庄東小学校区 (N=184)	66.8%	2.2%	5.4%	10.9%	6.5%	1.6%	3.3%	3.3%
	本庄西小学校区 (N=88)	71.6%	1.1%	5.7%	2.3%	8.0%	5.7%	0.0%	5.7%
	藤田小学校区 (N=45)	75.6%	0.0%	8.9%	6.7%	0.0%	2.2%	2.2%	4.4%
	仁手小学校区 (N=23)	69.6%	4.3%	0.0%	17.4%	4.3%	0.0%	4.3%	0.0%
	旭小学校区 (N=87)	66.7%	0.0%	3.4%	6.9%	9.2%	4.6%	5.7%	3.4%
	北泉小学校区 (N=96)	71.9%	3.1%	6.3%	7.3%	5.2%	1.0%	1.0%	4.2%
	本庄南小学校区 (N=107)	64.5%	3.7%	5.6%	5.6%	9.3%	5.6%	2.8%	2.8%
	中央小学校区 (N=138)	71.7%	0.7%	5.1%	8.7%	5.8%	3.6%	2.2%	2.2%
	児玉小学校区 (N=119)	68.9%	6.7%	5.9%	1.7%	7.6%	5.9%	2.5%	0.8%
	金屋小学校区 (N=82)	65.9%	7.3%	7.3%	6.1%	3.7%	6.1%	1.2%	2.4%
	秋平小学校区 (本泉小学校区を 含む) (N=41)	61.0%	4.9%	14.6%	4.9%	4.9%	4.9%	2.4%	2.4%
	共和小学校区 (N=50)	68.0%	0.0%	4.0%	8.0%	2.0%	2.0%	4.0%	12.0%

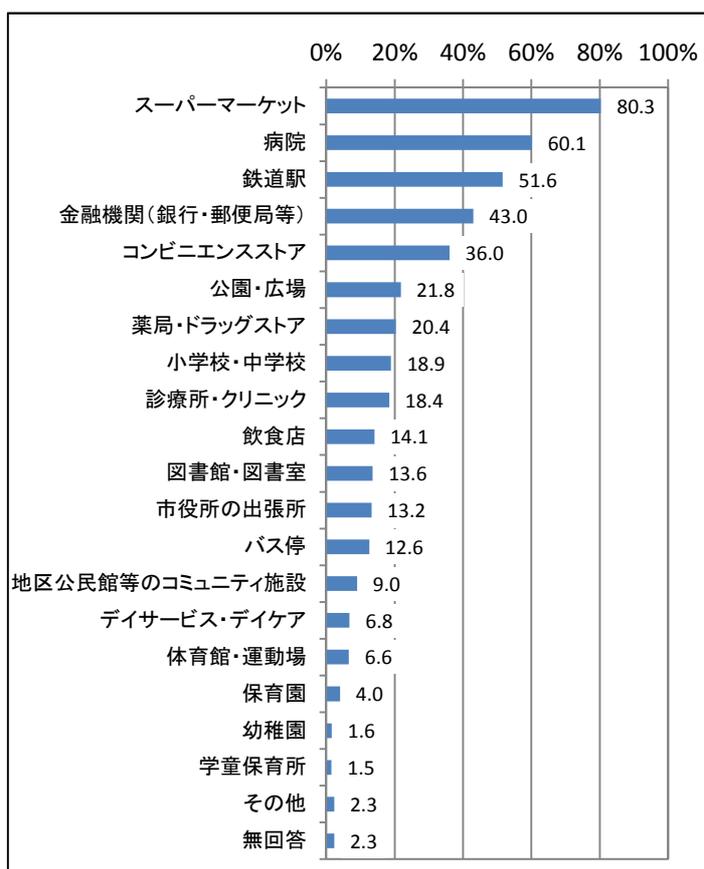
■ 住み替え住宅の種類



設問⑥ もし、本庄市内で住み替えるとしたら、どのような施設がお住まいの近くにあることを重視しますか。〈5つまで〉

- ・上位5項目をみると、「スーパーマーケット」を挙げる人が80.3%と最も多く、次いで「病院」を挙げる人が60.1%、「鉄道駅」を挙げる人が51.6%、「金融機関（銀行・郵便局等）」を挙げる人が43.0%、「コンビニエンスストア」を挙げる人が36.0%を占めています。
- ・下位5項目をみると、「学童保育所」を挙げる人が1.5%と最も少なく、次いで「幼稚園」を挙げる人が1.6%、「保育園」を挙げる人が4.0%、「体育館・運動場」を挙げる人が6.6%、「デイサービス・デイケア」を挙げる人が6.8%となっています。
- ・年齢別に最も多い回答をみると、18・19歳代では「鉄道駅」を挙げる人が最も多く、20歳代から60歳代では「スーパーマーケット」を挙げる人が最も多くなっています。70歳代では「病院」を挙げる人が最も多くなっており、80歳代では「病院」「スーパーマーケット」を挙げる人が同率一位となっています。
- ・居住地区別に最も多い回答をみると、すべての地区で「スーパーマーケット」を挙げる人が最も多くなっています。

	基数	割合
スーパーマーケット	947	80.3%
病院	709	60.1%
鉄道駅	608	51.6%
金融機関(銀行・郵便局等)	507	43.0%
コンビニエンスストア	425	36.0%
公園・広場	257	21.8%
薬局・ドラッグストア	240	20.4%
小学校・中学校	223	18.9%
診療所・クリニック	217	18.4%
飲食店	166	14.1%
図書館・図書室	160	13.6%
市役所の出張所	156	13.2%
バス停	148	12.6%
地区公民館等のコミュニティ施設	106	9.0%
デイサービス・デイケア	80	6.8%
体育館・運動場	78	6.6%
保育園	47	4.0%
幼稚園	19	1.6%
学童保育所	18	1.5%
その他	27	2.3%
無回答	27	2.3%
回答数	1,179	100.0%



■市内で住み替える際に重視する近隣施設

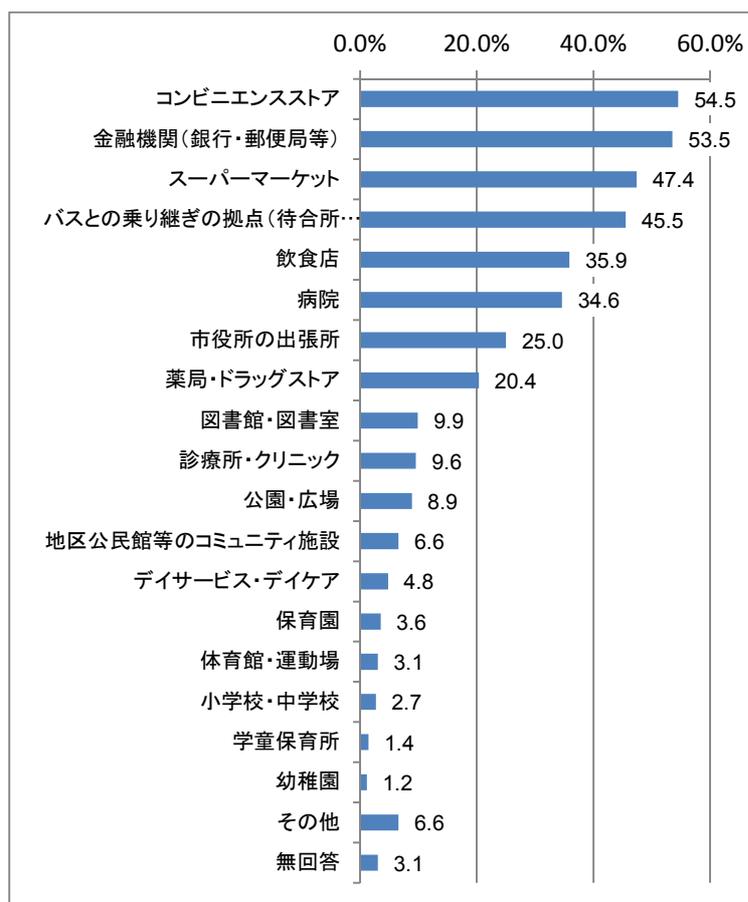
		鉄道駅	バス停	コンビニエンスストア	スーパーマーケット	飲食店	金融機関 (銀行・郵便局等)	病院	診療所・クリニック	薬局・ドラッグストア	デイサービス・デイケア
総数(N=1179)		51.6%	12.6%	36.0%	80.3%	14.1%	43.0%	60.1%	18.4%	20.4%	6.8%
性別	男性(N=409)	49.6%	12.7%	40.6%	77.5%	18.1%	36.9%	56.0%	18.6%	17.6%	7.1%
	女性(N=712)	53.4%	12.5%	32.9%	82.6%	11.4%	46.1%	62.2%	18.8%	22.1%	6.6%
年齢	18・19歳(N=35)	68.6%	11.4%	51.4%	65.7%	28.6%	34.3%	42.9%	8.6%	25.7%	0.0%
	20歳代(N=109)	58.7%	7.3%	53.2%	85.3%	17.4%	35.8%	47.7%	14.7%	28.4%	0.9%
	30歳代(N=191)	53.4%	6.8%	48.2%	80.6%	11.0%	26.2%	49.2%	19.9%	24.1%	2.1%
	40歳代(N=218)	54.6%	11.0%	41.3%	81.2%	16.1%	39.9%	55.0%	18.8%	23.9%	6.0%
	50歳代(N=161)	48.4%	9.3%	29.2%	86.3%	22.4%	45.3%	59.6%	22.4%	22.4%	3.1%
	60歳代(N=213)	52.1%	18.3%	21.1%	85.0%	7.5%	58.2%	72.8%	19.7%	13.1%	9.9%
	70歳代(N=146)	43.2%	17.8%	28.1%	68.5%	8.9%	49.3%	72.6%	19.9%	13.7%	17.1%
	80歳以上(N=50)	40.0%	26.0%	18.0%	76.0%	8.0%	48.0%	76.0%	12.0%	16.0%	16.0%
居住地区 (小学校区単位)	本庄東小学校区(N=184)	62.0%	7.6%	38.0%	80.4%	14.1%	44.0%	59.2%	15.8%	18.5%	6.0%
	本庄西小学校区(N=88)	59.1%	12.5%	31.8%	78.4%	17.0%	52.3%	54.5%	18.2%	20.5%	4.5%
	藤田小学校区(N=45)	44.4%	13.3%	44.4%	73.3%	11.1%	37.8%	71.1%	24.4%	20.0%	13.3%
	仁手小学校区(N=23)	30.4%	4.3%	26.1%	87.0%	21.7%	43.5%	69.6%	17.4%	13.0%	8.7%
	旭小学校区(N=87)	42.5%	10.3%	31.0%	75.9%	12.6%	39.1%	60.9%	27.6%	20.7%	9.2%
	北泉小学校区(N=96)	47.9%	7.3%	32.3%	79.2%	8.3%	45.8%	60.4%	17.7%	20.8%	4.2%
	本庄南小学校区(N=107)	48.6%	12.1%	42.1%	78.5%	17.8%	38.3%	49.5%	24.3%	14.0%	6.5%
	中央小学校区(N=138)	64.5%	10.9%	39.9%	83.3%	13.0%	50.7%	54.3%	17.4%	20.3%	8.7%
	兎玉小学校区(N=119)	55.5%	20.2%	37.0%	81.5%	12.6%	43.7%	66.4%	11.8%	21.8%	5.9%
	金屋小学校区(N=82)	39.0%	12.2%	28.0%	86.6%	14.6%	36.6%	68.3%	22.0%	24.4%	7.3%
	秋平小学校区(本泉小学校区を含む)(N=41)	34.1%	19.5%	41.5%	80.5%	17.1%	39.0%	56.1%	22.0%	17.1%	7.3%
共和小学校区(N=50)	42.0%	24.0%	34.0%	72.0%	16.0%	40.0%	56.0%	18.0%	20.0%	4.0%	

		幼稚園	保育園	学童保育所	小学校・中学校	公園・広場	市役所の出張所	地区公民館等のコミュニティ施設	図書館・図書室	体育館・運動場	その他	無回答
総数(N=1179)		1.6%	4.0%	1.5%	18.9%	21.8%	13.2%	9.0%	13.6%	6.6%	2.3%	2.3%
性別	男性(N=409)	1.2%	4.2%	2.0%	20.8%	24.0%	10.5%	8.6%	11.5%	8.8%	2.2%	2.2%
	女性(N=712)	2.0%	3.8%	1.3%	18.0%	21.1%	15.2%	9.6%	15.2%	5.3%	2.5%	2.0%
年齢	18・19歳(N=35)	2.9%	5.7%	2.9%	8.6%	5.7%	2.9%	5.7%	14.3%	17.1%	8.6%	2.9%
	20歳代(N=109)	4.6%	10.1%	1.8%	30.3%	18.3%	6.4%	0.9%	11.0%	1.8%	3.7%	1.8%
	30歳代(N=191)	2.6%	10.5%	3.1%	42.9%	34.6%	3.7%	2.1%	11.0%	6.8%	4.2%	1.6%
	40歳代(N=218)	0.5%	3.7%	2.3%	24.8%	18.8%	8.3%	4.1%	14.7%	7.8%	1.8%	0.9%
	50歳代(N=161)	0.6%	0.6%	0.6%	11.8%	19.9%	14.9%	10.6%	18.0%	9.3%	1.9%	1.2%
	60歳代(N=213)	1.4%	0.9%	0.5%	6.6%	26.3%	23.0%	18.3%	19.2%	7.0%	0.9%	0.5%
	70歳代(N=146)	1.4%	0.0%	0.0%	5.5%	14.4%	22.6%	17.1%	8.9%	3.4%	0.7%	6.2%
	80歳以上(N=50)	2.0%	0.0%	2.0%	2.0%	16.0%	28.0%	12.0%	4.0%	2.0%	2.0%	6.0%
居住地区 (小学校区単位)	本庄東小学校区(N=184)	0.5%	3.3%	0.5%	16.3%	19.6%	12.0%	7.6%	16.3%	6.0%	2.2%	2.2%
	本庄西小学校区(N=88)	0.0%	2.3%	4.5%	15.9%	19.3%	19.3%	6.8%	17.0%	8.0%	2.3%	3.4%
	藤田小学校区(N=45)	2.2%	4.4%	4.4%	17.8%	26.7%	13.3%	11.1%	6.7%	4.4%	0.0%	2.2%
	仁手小学校区(N=23)	4.3%	4.3%	0.0%	21.7%	21.7%	17.4%	13.0%	17.4%	4.3%	0.0%	4.3%
	旭小学校区(N=87)	1.1%	4.6%	1.1%	12.6%	28.7%	9.2%	11.5%	16.1%	6.9%	4.6%	1.1%
	北泉小学校区(N=96)	5.2%	4.2%	1.0%	24.0%	35.4%	9.4%	8.3%	16.7%	9.4%	3.1%	1.0%
	本庄南小学校区(N=107)	0.9%	2.8%	0.9%	22.4%	27.1%	9.3%	3.7%	16.8%	6.5%	1.9%	2.8%
	中央小学校区(N=138)	2.2%	3.6%	0.7%	25.4%	13.8%	14.5%	10.1%	12.3%	6.5%	2.2%	1.4%
	兎玉小学校区(N=119)	0.0%	6.7%	0.0%	19.3%	19.3%	16.0%	13.4%	10.1%	3.4%	0.8%	0.8%
	金屋小学校区(N=82)	1.2%	3.7%	2.4%	20.7%	14.6%	18.3%	13.4%	12.2%	12.2%	0.0%	2.4%
	秋平小学校区(本泉小学校区を含む)(N=41)	2.4%	7.3%	2.4%	24.4%	24.4%	7.3%	9.8%	14.6%	4.9%	2.4%	2.4%
共和小学校区(N=50)	2.0%	0.0%	0.0%	8.0%	20.0%	14.0%	8.0%	10.0%	6.0%	6.0%	6.0%	

設問⑦ 普段使う鉄道駅周辺にあると便利だと思う施設を教えてください。〈5つまで〉

- ・上位5項目をみると、「コンビニエンスストア」を挙げる人が54.5%と最も多く、次いで「金融機関(銀行・郵便局等)」を挙げる人が53.5%、「スーパーマーケット」を挙げる人が47.4%、「バスとの乗り継ぎの拠点(待合所等)」を挙げる人が45.5%、「飲食店」を挙げる人が35.9%を占めています。
- ・下位5項目をみると、「幼稚園」を挙げる人が1.2%と最も少なく、次いで「学童保育所」を挙げる人が1.4%、「小学校・中学校」を挙げる人が2.7%、「体育館・運動場」を挙げる人が3.1%、「保育園」を挙げる人が3.6%となっています。
- ・年齢別に最も多い回答を見ると、18・19歳代から40歳代では「コンビニエンスストア」を挙げる人が最も多く、50歳代から70歳代では「金融機関(銀行・郵便局等)」が、80歳代では「病院」が最も多くなっています。
- ・居住地区別に最も多い回答をみると、本庄東小学校区では「スーパーマーケット」が、本庄西・秋平・共和小学校区では「金融機関(銀行・郵便局等)」が、仁手小学校区では「バスとの乗り継ぎの拠点(待合所等)」が、上記を除いた小学校区では「コンビニエンスストア」が最も多くなっています。

	基数	割合
コンビニエンスストア	643	54.5%
金融機関(銀行・郵便局等)	631	53.5%
スーパーマーケット	559	47.4%
バスとの乗り継ぎの拠点(待合所等)	537	45.5%
飲食店	423	35.9%
病院	408	34.6%
市役所の出張所	295	25.0%
薬局・ドラッグストア	240	20.4%
図書館・図書室	117	9.9%
診療所・クリニック	113	9.6%
公園・広場	105	8.9%
地区公民館等のコミュニティ施設	78	6.6%
デイサービス・デイケア	57	4.8%
保育園	42	3.6%
体育館・運動場	36	3.1%
小学校・中学校	32	2.7%
学童保育所	17	1.4%
幼稚園	14	1.2%
その他	78	6.6%
無回答	36	3.1%
回答数	1,179	100.0%



■ 駅周辺にあると便利な施設

		バスとの 乗り継ぎ の拠点(待 合所等)	コンビニエ ンスストア	スーパー マーケット	飲食店	金融機関 (銀行・郵 便局等)	病院	診療所・ク リニック	薬局・ド ラッグストア	デイサービ ス・デイケ ア
総数(N=1179)		45.5%	54.5%	47.4%	35.9%	53.5%	34.6%	9.6%	20.4%	4.8%
性別	男性(N=409)	46.5%	51.6%	44.7%	35.0%	52.1%	34.7%	9.5%	17.4%	4.6%
	女性(N=712)	46.5%	56.6%	48.6%	36.7%	54.2%	33.7%	9.6%	22.6%	4.5%
年齢	18・19歳(N=35)	37.1%	74.3%	28.6%	37.1%	40.0%	28.6%	8.6%	17.1%	0.0%
	20歳代(N=109)	34.9%	68.8%	42.2%	45.0%	58.7%	26.6%	1.8%	28.4%	2.8%
	30歳代(N=191)	46.6%	71.7%	35.6%	46.6%	40.8%	16.8%	7.9%	21.5%	0.5%
	40歳代(N=218)	45.4%	63.3%	45.0%	39.0%	52.8%	28.0%	8.3%	20.6%	0.9%
	50歳代(N=161)	49.1%	51.6%	49.7%	39.1%	52.8%	36.0%	9.9%	25.5%	3.7%
	60歳代(N=213)	51.2%	42.3%	60.1%	27.7%	64.3%	42.7%	12.2%	14.1%	7.0%
	70歳代(N=146)	50.7%	36.3%	47.9%	24.0%	55.5%	50.7%	15.1%	20.5%	12.3%
	80歳以上(N=50)	40.0%	24.0%	60.0%	20.0%	54.0%	60.0%	12.0%	14.0%	12.0%
居住地区 (小学校 区単位)	本庄東小学校区(N=184)	40.8%	50.0%	53.8%	35.3%	50.0%	37.0%	9.8%	22.3%	6.0%
	本庄西小学校区(N=88)	43.2%	56.8%	47.7%	40.9%	60.2%	33.0%	11.4%	20.5%	6.8%
	藤田小学校区(N=45)	42.2%	60.0%	48.9%	28.9%	57.8%	42.2%	8.9%	17.8%	8.9%
	仁手小学校区(N=23)	52.2%	30.4%	47.8%	30.4%	47.8%	43.5%	13.0%	8.7%	0.0%
	旭小学校区(N=87)	41.4%	60.9%	41.4%	37.9%	46.0%	29.9%	11.5%	23.0%	3.4%
	北泉小学校区(N=96)	41.7%	56.3%	47.9%	43.8%	52.1%	25.0%	9.4%	20.8%	3.1%
	本庄南小学校区(N=107)	43.0%	59.8%	45.8%	34.6%	53.3%	25.2%	10.3%	23.4%	5.6%
	中央小学校区(N=138)	50.7%	62.3%	45.7%	44.2%	59.4%	23.9%	11.6%	24.6%	2.9%
	児玉小学校区(N=119)	59.7%	60.5%	52.1%	34.5%	49.6%	47.1%	5.0%	19.3%	3.4%
	金屋小学校区(N=82)	47.6%	48.8%	41.5%	28.0%	43.9%	36.6%	7.3%	13.4%	3.7%
	秋平小学校区(本泉小学 校区を含む)(N=41)	51.2%	51.2%	56.1%	39.0%	63.4%	41.5%	19.5%	17.1%	7.3%
共和小学校区(N=50)	50.0%	42.0%	32.0%	30.0%	56.0%	36.0%	6.0%	20.0%	0.0%	

		幼稚園	保育園	学童保育所	小学校・中 学校	公園・広場	市役所の出 張所	地区公民館 等のコミュニ ティ施設	図書館・図 書室	体育館・運 動場	その他	無回答
総数(N=1179)		1.2%	3.6%	1.4%	2.7%	8.9%	25.0%	6.6%	9.9%	3.1%	6.6%	3.1%
性別	男性(N=409)	2.0%	3.7%	1.7%	4.9%	10.5%	23.2%	6.4%	8.1%	3.4%	6.6%	3.4%
	女性(N=712)	0.8%	3.2%	1.3%	1.3%	8.7%	26.3%	6.7%	10.5%	2.4%	7.0%	2.4%
年齢	18・19歳(N=35)	5.7%	2.9%	0.0%	5.7%	11.4%	14.3%	2.9%	14.3%	2.9%	5.7%	2.9%
	20歳代(N=109)	2.8%	1.8%	0.9%	6.4%	10.1%	16.5%	0.9%	13.8%	1.8%	3.7%	0.9%
	30歳代(N=191)	1.6%	4.7%	3.7%	2.1%	8.4%	18.3%	3.7%	11.5%	1.6%	11.5%	2.6%
	40歳代(N=218)	1.4%	5.5%	0.5%	3.2%	7.3%	23.9%	6.4%	8.7%	3.7%	8.7%	1.4%
	50歳代(N=161)	0.6%	2.5%	1.9%	0.6%	5.6%	24.8%	6.8%	8.1%	1.9%	6.8%	0.6%
	60歳代(N=213)	0.5%	3.8%	1.4%	2.3%	16.0%	31.9%	8.9%	11.7%	3.3%	4.2%	2.3%
	70歳代(N=146)	0.7%	1.4%	0.7%	1.4%	6.8%	33.6%	10.3%	2.7%	3.4%	4.1%	8.2%
	80歳以上(N=50)	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	10.0%	32.0%	12.0%	8.0%	4.0%	6.0%	6.0%
居住地区 (小学校 区単位)	本庄東小学校区(N=184)	1.1%	3.8%	0.5%	3.8%	9.8%	23.4%	8.7%	12.0%	3.3%	4.3%	2.2%
	本庄西小学校区(N=88)	3.4%	4.5%	1.1%	1.1%	8.0%	29.5%	8.0%	9.1%	2.3%	9.1%	4.5%
	藤田小学校区(N=45)	0.0%	6.7%	2.2%	6.7%	4.4%	22.2%	11.1%	15.6%	2.2%	6.7%	2.2%
	仁手小学校区(N=23)	4.3%	8.7%	0.0%	4.3%	8.7%	8.7%	8.7%	21.7%	4.3%	13.0%	0.0%
	旭小学校区(N=87)	0.0%	0.0%	3.4%	1.1%	9.2%	24.1%	4.6%	11.5%	2.3%	8.0%	1.1%
	北泉小学校区(N=96)	0.0%	7.3%	0.0%	3.1%	8.3%	25.0%	9.4%	10.4%	2.1%	8.3%	3.1%
	本庄南小学校区(N=107)	0.9%	1.9%	1.9%	2.8%	7.5%	31.8%	0.9%	7.5%	2.8%	7.5%	4.7%
	中央小学校区(N=138)	1.4%	5.8%	0.7%	1.4%	8.7%	31.9%	7.2%	9.4%	2.2%	6.5%	0.7%
	児玉小学校区(N=119)	1.7%	1.7%	0.8%	0.0%	10.9%	21.8%	5.0%	7.6%	3.4%	6.7%	0.0%
	金屋小学校区(N=82)	0.0%	1.2%	3.7%	2.4%	7.3%	23.2%	9.8%	9.8%	4.9%	6.1%	3.7%
	秋平小学校区(本泉小学 校区を含む)(N=41)	0.0%	2.4%	2.4%	9.8%	9.8%	14.6%	7.3%	7.3%	4.9%	7.3%	0.0%
共和小学校区(N=50)	2.0%	2.0%	0.0%	4.0%	10.0%	22.0%	2.0%	10.0%	2.0%	2.0%	10.0%	

(2) 本庄市のまちづくりの満足度について

設問① これまでの本庄市総合振興計画（平成20年度～平成29年度）に沿って進めてきた取り組みについてこれまでの「満足度」とこれからの「重要度」をそれぞれ、5段階で評価して1つずつに○印をお付けください。

■計算方法

満足度指数は各項目の回答を、「満足している」：2点、「多少満足している」：1点、「多少不満である」：-1点、「不満である」：-2点、「わからない」：0点として、その施策に対する回答者数の合計で除しています。

重要度指数は各項目の回答を、「重要である」：2点、「やや重要である」：1点、「あまり重要でない」：-1点、「重要でない」：-2点、「わからない」：0点として、その施策に対する回答者数の合計で除しています。

※計算方法は前回調査（平成24年）と共通しているため、前回調査との比較が可能ですが、施策内容が組み替えられているものなど一部比較が出来ないものがあります。

■これまでの「満足度」について

<満足度の上位5項目>

- ・「ごみの収集や資源回収体制が整備されている」「水道の整備が進んでいる」がともに0.55と最も高く、次いで「歴史や伝統が大事にされている」が0.48、「住民検診や健康指導が充実している」0.22、「保育所など子育て支援が充実している」が0.18となっています。

<満足度の下位5項目>

- ・若者が希望する働く場が充実している」が-1.02と最も低く、次いで「商業の活気がある」が-0.90、「街路灯など防犯の面で安心である」が-0.68、「バスや鉄道などが利用しやすい」「病院や診療所など医療機関が充実している」がともに-0.61となっています。

<施策項目での前回調査（平成24年）との比較>

- ・健康福祉分野では、満足度が改善したものとして、子ども・子育て支援（-0.17から0.18へと0.35ポイント改善）、医療体制の充実（-0.74から-0.61へと0.13ポイント改善）、高齢者福祉の充実（-0.20から-0.16へと0.04ポイント改善）が挙げられます。満足度が下がったものとしては、健康づくりの推進（0.38から0.22へと0.16ポイント悪化）が挙げられます。
- ・市民生活分野では、満足度が改善したものとして、市民サービスの向上（-0.09から0.05へと0.14ポイント改善）、市民との協働によるまちづくりの推進（-0.10から0.03へと0.13ポイント改善）が挙げられます。満足度が下がったものとしては、危機管理体制の充実（-0.02から-0.13へと0.11ポイント悪化）、防犯体制の充実（-0.13から-0.68へと0.55ポイント悪化）、交通安全対策（0.03から-0.34へと0.37ポイント悪化）が挙げられます。
- ・教育文化分野では、満足度が改善したものとして、教育環境の整備（-0.02から0.09へと0.11ポイント改善）、文化財の保護と活用の推進（0.12から0.48へと0.36ポイント改善）、生涯スポーツの促進（0.01から0.02へと0.01ポイント改善）が挙げられます。満足度が下がったものとしては、生涯学習の活発化（0.02から-0.09へと0.11ポイント悪化）が挙げられます。
- ・経済環境分野では、満足度が改善したものとして、廃棄物の処理とリサイクル（-0.11から0.55へと0.66ポイント改善）が挙げられます。満足度が下がったものとしては、勤労者対策

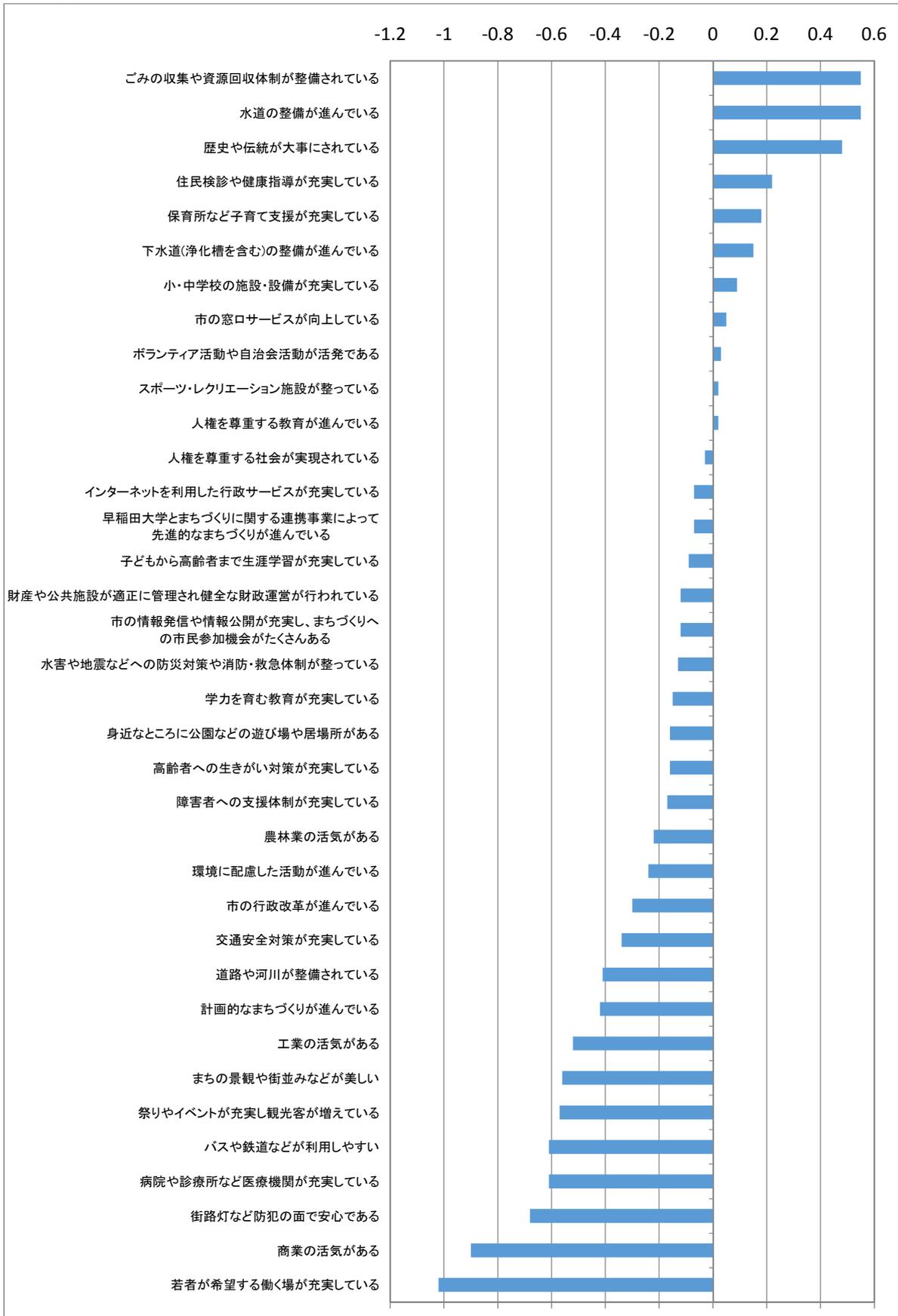
の推進と消費者の安全と利益の確保（-0.43 から-1.02 へと 0.59 ポイント悪化）、環境対策の充実（-0.05 から-0.24 へと 0.19 ポイント悪化）、農林業の振興（-0.07 から-0.22 へと 0.15 ポイント悪化）、商業の振興（-0.59 から-0.9 へと 0.31 ポイント悪化）、工業の振興（-0.45 から-0.52 へと 0.07 ポイント悪化）、観光・レクリエーションの活発化（-0.29 から-0.57 へと 0.28 ポイント悪化）が挙げられます。

- **都市基盤分野**では、満足度が改善したものとして、上水道の整備（0.49 から 0.55 へと 0.06 ポイント改善）、市街地整備（-0.45 から-0.42 へと 0.03 ポイント改善）、下水道等の整備（0.14 から 0.15 へと 0.01 ポイント改善）が挙げられます。
- **行財政経営分野**では、満足度が改善したものとして、自主性・自立性の高い財政運営の確立（-0.45 から-0.12 へと 0.33 ポイント改善）が挙げられます。満足度が下がったものとしては、市民参加と透明性の高い行政経営の推進（0.32 から-0.12 へと 0.44 ポイント悪化）早稲田大学との包括協定に基づく施策の推進（0.06 から-0.07 へと 0.13 ポイント悪化）が挙げられます。

■満足度指数（アンケート）

	満足度指数
ごみの収集や資源回収体制が整備されている	0.55
水道の整備が進んでいる	0.55
歴史や伝統が大事にされている	0.48
住民検診や健康指導が充実している	0.22
保育所など子育て支援が充実している	0.18
下水道(浄化槽を含む)の整備が進んでいる	0.15
小・中学校の施設・設備が充実している	0.09
市の窓口サービスが向上している	0.05
ボランティア活動や自治会活動が活発である	0.03
スポーツ・レクリエーション施設が整っている	0.02
人権を尊重する教育が進んでいる	0.02
人権を尊重する社会が実現されている	-0.03
インターネットを利用した行政サービスが充実している	-0.07
早稲田大学とまちづくりに関する連携事業によって先進的なまちづくりが進んでいる	-0.07
子どもから高齢者まで生涯学習が充実している	-0.09
財産や公共施設が適正に管理され健全な財政運営が行われている	-0.12
市の情報発信や情報公開が充実し、まちづくりへの市民参加機会がたくさんある	-0.12
水害や地震などへの防災対策や消防・救急体制が整っている	-0.13
学力を育む教育が充実している	-0.15
身近なところに公園などの遊び場や居場所がある	-0.16
高齢者への生きがい対策が充実している	-0.16
障害者への支援体制が充実している	-0.17
農林業の活気がある	-0.22
環境に配慮した活動が進んでいる	-0.24
市の行政改革が進んでいる	-0.3
交通安全対策が充実している	-0.34
道路や河川が整備されている	-0.41
計画的なまちづくりが進んでいる	-0.42
工業の活気がある	-0.52
まちの景観や街並みなどが美しい	-0.56
祭りやイベントが充実し観光客が増えている	-0.57
バスや鉄道などが利用しやすい	-0.61
病院や診療所など医療機関が充実している	-0.61
街路灯など防犯の面で安心である	-0.68
商業の活気がある	-0.9
若者が希望する働く場が充実している	-1.02

■満足度指数（アンケート）



■満足度指数（施策項目・前回と比較）

分野	施策	前回満足度指数	今回満足度指数	比較
健康福祉分野	子ども・子育て支援	-0.17	0.18	0.35
	健康づくりの推進	0.38	0.22	-0.16
	医療体制の充実	-0.74	-0.61	0.13
	障害者福祉・地域福祉の推進	-0.06	-0.17	-0.11
	高齢者福祉の充実	-0.20	-0.16	0.04
市民生活分野	市民との協働によるまちづくりの推進	-0.10	0.03	0.13
	人権を尊重する社会の実現	0.16	-0.03	-0.19
	危機管理体制の充実	-0.02	-0.13	-0.11
	防犯体制の充実	-0.13	-0.68	-0.55
	交通安全対策	0.03	-0.34	-0.37
	市民サービスの向上	-0.09	0.05	0.14
教育文化分野	創造性と確かな学力を育む教育の推進	-0.02	-0.15	-0.13
	教育環境の整備	-0.02	0.09	0.11
	人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進	—	0.02	—
	生涯学習の活発化	0.02	-0.09	-0.11
	文化財の保護と活用の推進	0.12	0.48	0.36
	生涯スポーツの促進	0.01	0.02	0.01
経済環境分野	農林業の振興	-0.07	-0.22	-0.15
	商業の振興	-0.59	-0.90	-0.31
	工業の振興	-0.45	-0.52	-0.07
	観光・レクリエーションの活発化	-0.29	-0.57	-0.28
	勤労者対策の推進と消費者の安全と利益の確保	-0.43	-1.02	-0.59
	環境対策の充実	-0.05	-0.24	-0.19
	廃棄物の処理とリサイクル	-0.11	0.55	0.66
都市基盤分野	計画的なまちづくり	-0.51	-0.56	-0.05
	市街地整備	-0.45	-0.42	0.03
	道路・河川の整備と維持管理	-0.34	-0.41	-0.07
	交通サービスの充実	-0.43	-0.61	-0.18
	上水道の整備	0.49	0.55	0.06
	下水道等の整備	0.14	0.15	0.01
	都市公園の整備と緑化運動	-0.03	-0.16	-0.13
行政経営分野	市民参加と透明性の高い行政経営の推進	0.32	-0.12	-0.44
	効率的・効果的な行政経営の推進	-0.41	-0.30	0.11
	早稲田大学との包括協定に基づく施策の推進	0.06	-0.07	-0.13
	電子自治体の推進	-0.10	-0.07	0.03
	自主性・自立性の高い財政運営の確立	-0.45	-0.12	0.33

■これからの「重要度」について

<重要度の上位5項目>

- ・「病院や診療所など医療機関が充実している」が1.67と最も高く、次いで「水害や地震などへの防災対策や消防。救急体制が整っている」が1.61、「街路灯など防犯の面で安心である」が1.55、「若者が希望する働く場が充実している」が1.51、「住民検診や健康指導が充実している」が1.47となっています。

<重要度の下位5項目>

- ・「早稲田大学とまちづくりに関する連携事業によって先進的なまちづくりが進んでいる」が0.64と最も低く、次いで「インターネットを利用した行政サービスが充実している」が0.71、「祭りやイベントが充実し観光客が増えている」「ボランティア活動や自治会活動が活発である」がともに0.78、「市の情報発信や情報公開が充実し、まちづくりへの市民参加機会がたくさんある」が0.82となっています。

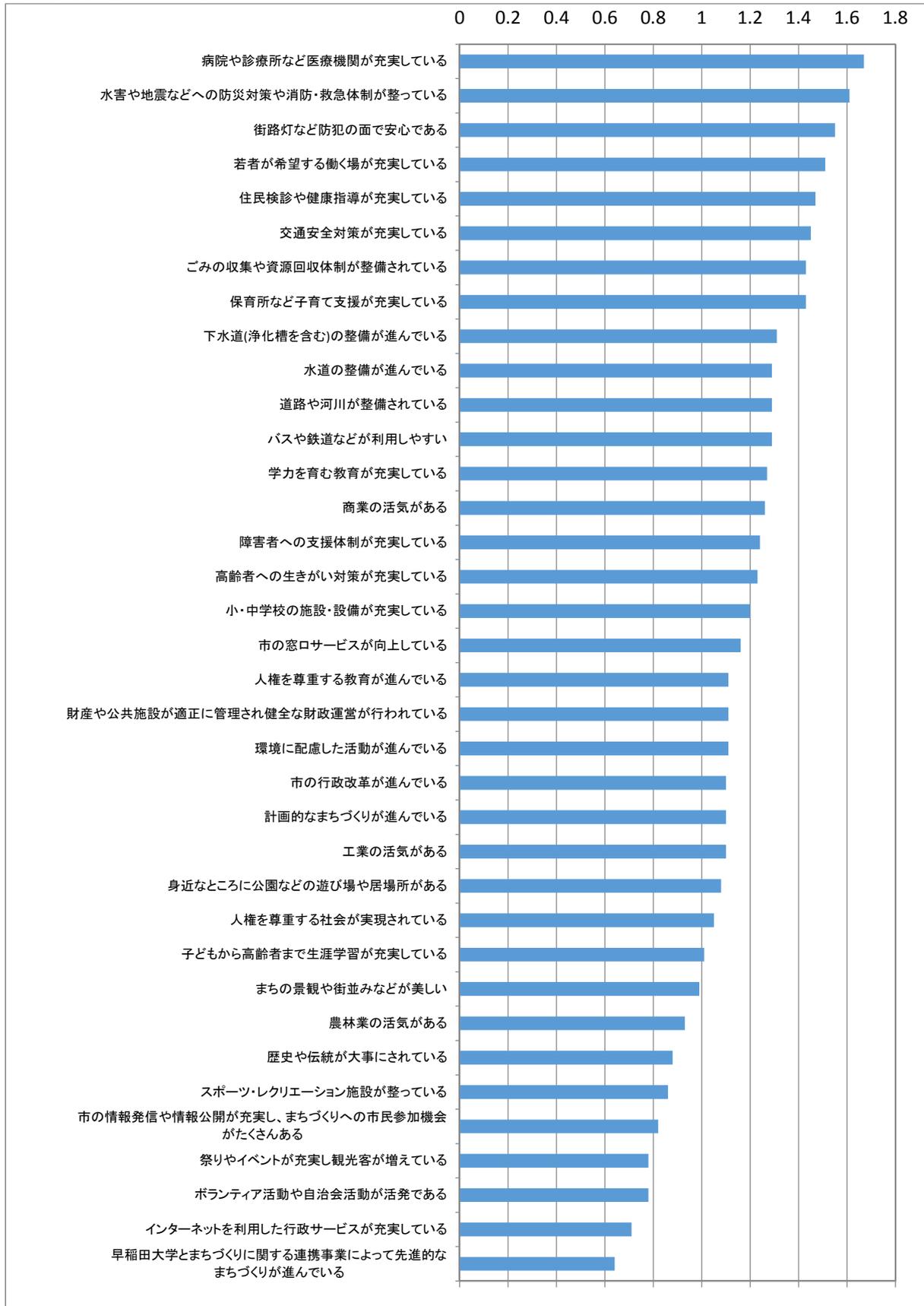
<施策項目での前回調査（平成24年）との比較>

- ・**健康福祉分野**では、重要度が増加したのものとして、子ども・子育て支援（1.19から1.43と0.24ポイント増加）、健康づくりの推進（1.39から1.47へと0.08ポイント増加）が挙げられます。重要度が低下したのものとして、高齢者福祉の充実（1.25から1.23へと0.02ポイント低下）が挙げられます。
- ・**市民生活分野**では、重要度が増加したのものとして、人権を尊重する社会の実現（0.74から1.05へと0.31ポイント増加）、危機管理体制の充実（1.46から1.61へと0.15ポイント増加）、防犯体制の充実（1.42から1.55へと0.13ポイント増加）交通安全対策（1.17から1.45へと0.28ポイント増加）、市民サービスの向上（1.12から1.16へと0.04ポイント増加）が挙げられます。重要度が低下したものはありません。
- ・**教育文化分野**では、重要度が増加したのものとして、生涯学習の活発化（0.68から1.01へと0.33ポイント増加）、文化財の保護と活用の推進（0.75から0.88へと0.13ポイント増加）、生涯スポーツの促進（0.73から0.86へと0.13ポイント増加）が挙げられます。
- ・**経済環境分野**では、重要度が増加したのものとして、農林業の振興（0.90から0.93へと0.03ポイント増加）、商業の振興（1.08から1.26へと0.18ポイント増加）、観光・レクリエーションの活発化（0.66から0.78へと0.12ポイント増加）が挙げられます。重要度が低下したのものとして、環境対策の充実（1.21から1.11へと0.10ポイント低下）、工業の振興（1.13から1.10へと0.03ポイント低下）が挙げられます。
- ・**都市基盤分野**では、重要度が低下したのものとして、上水道の整備（1.40から1.29へと0.11ポイント低下）、下水道等の整備（1.34から1.31へと0.03ポイント低下）が挙げられます。**行財政経営分野**では重要度が増加したのものとして、早稲田大学との包括協定に基づく施策の推進（0.28から0.64へと0.36ポイント増加）が挙げられます。重要度が低下したのものとして、自主性・自立性の高い財政運営の確立（1.28から1.11へと0.17ポイント低下）が挙げられます。

■重要度指数（アンケート）

	重要度指数
病院や診療所など医療機関が充実している	1.67
水害や地震などへの防災対策や消防・救急体制が整っている	1.61
街路灯など防犯の面で安心である	1.55
若者が希望する働く場が充実している	1.51
住民検診や健康指導が充実している	1.47
交通安全対策が充実している	1.45
ごみの収集や資源回収体制が整備されている	1.43
保育所など子育て支援が充実している	1.43
下水道(浄化槽を含む)の整備が進んでいる	1.31
水道の整備が進んでいる	1.29
道路や河川が整備されている	1.29
バスや鉄道などが利用しやすい	1.29
学力を育む教育が充実している	1.27
商業の活気がある	1.26
障害者への支援体制が充実している	1.24
高齢者への生きがい対策が充実している	1.23
小・中学校の施設・設備が充実している	1.20
市の窓口サービスが向上している	1.16
人権を尊重する教育が進んでいる	1.11
財産や公共施設が適正に管理され健全な財政運営が行われている	1.11
環境に配慮した活動が進んでいる	1.11
市の行政改革が進んでいる	1.10
計画的なまちづくりが進んでいる	1.10
工業の活気がある	1.10
身近なところに公園などの遊び場や居場所がある	1.08
人権を尊重する社会が実現されている	1.05
子どもから高齢者まで生涯学習が充実している	1.01
まちの景観や街並みなどが美しい	0.99
農林業の活気がある	0.93
歴史や伝統が大事にされている	0.88
スポーツ・レクリエーション施設が整っている	0.86
市の情報発信や情報公開が充実し、まちづくりへの市民参加機会がたくさんある	0.82
ボランティア活動や自治会活動が活発である	0.78
祭りやイベントが充実し観光客が増えている	0.78
インターネットを利用した行政サービスが充実している	0.71
早稲田大学とまちづくりに関する連携事業によって先進的なまちづくりが進んでいる	0.64

■重要度指数（アンケート）



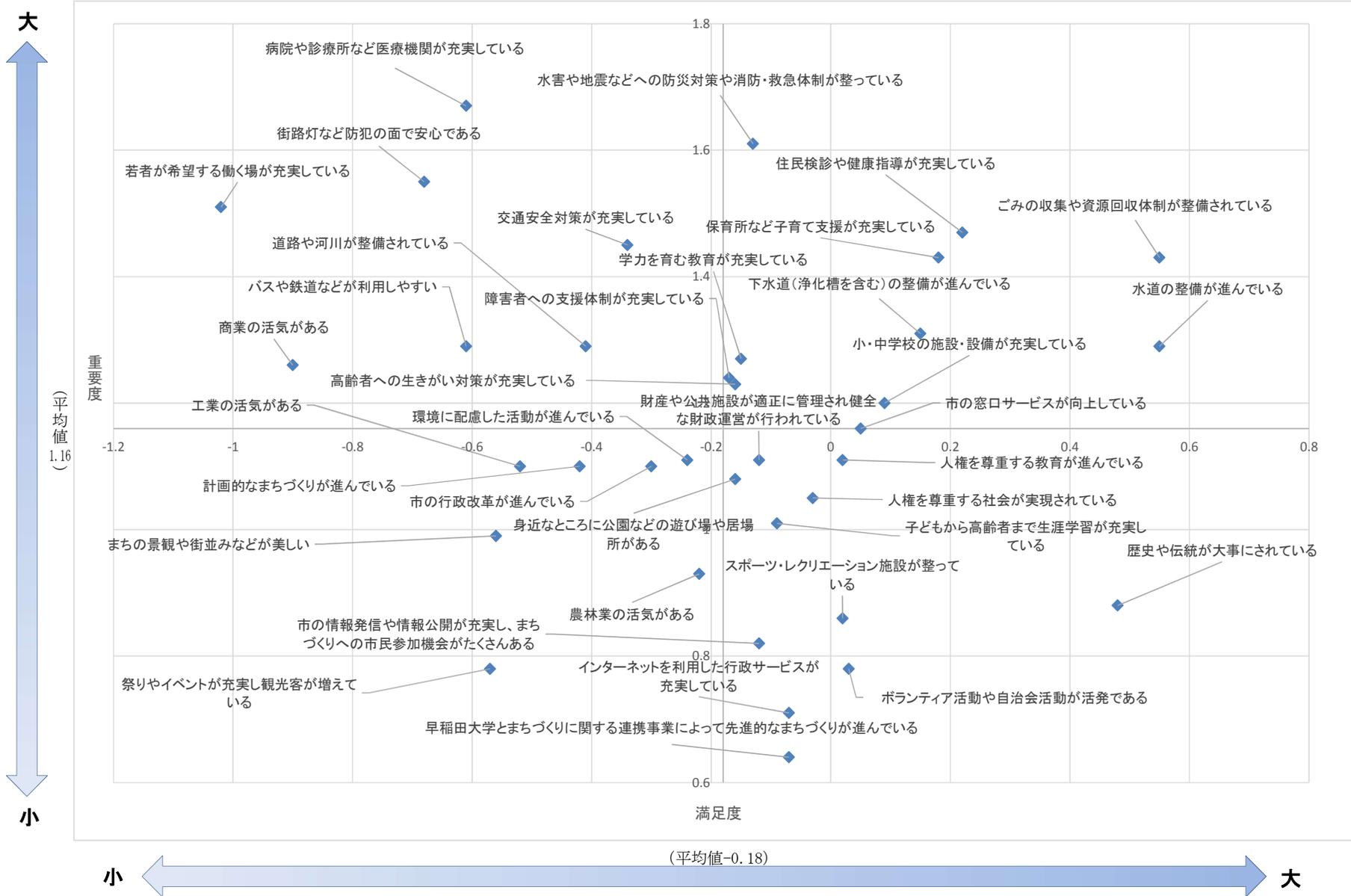
■重要度指数（施策項目・前回と比較）

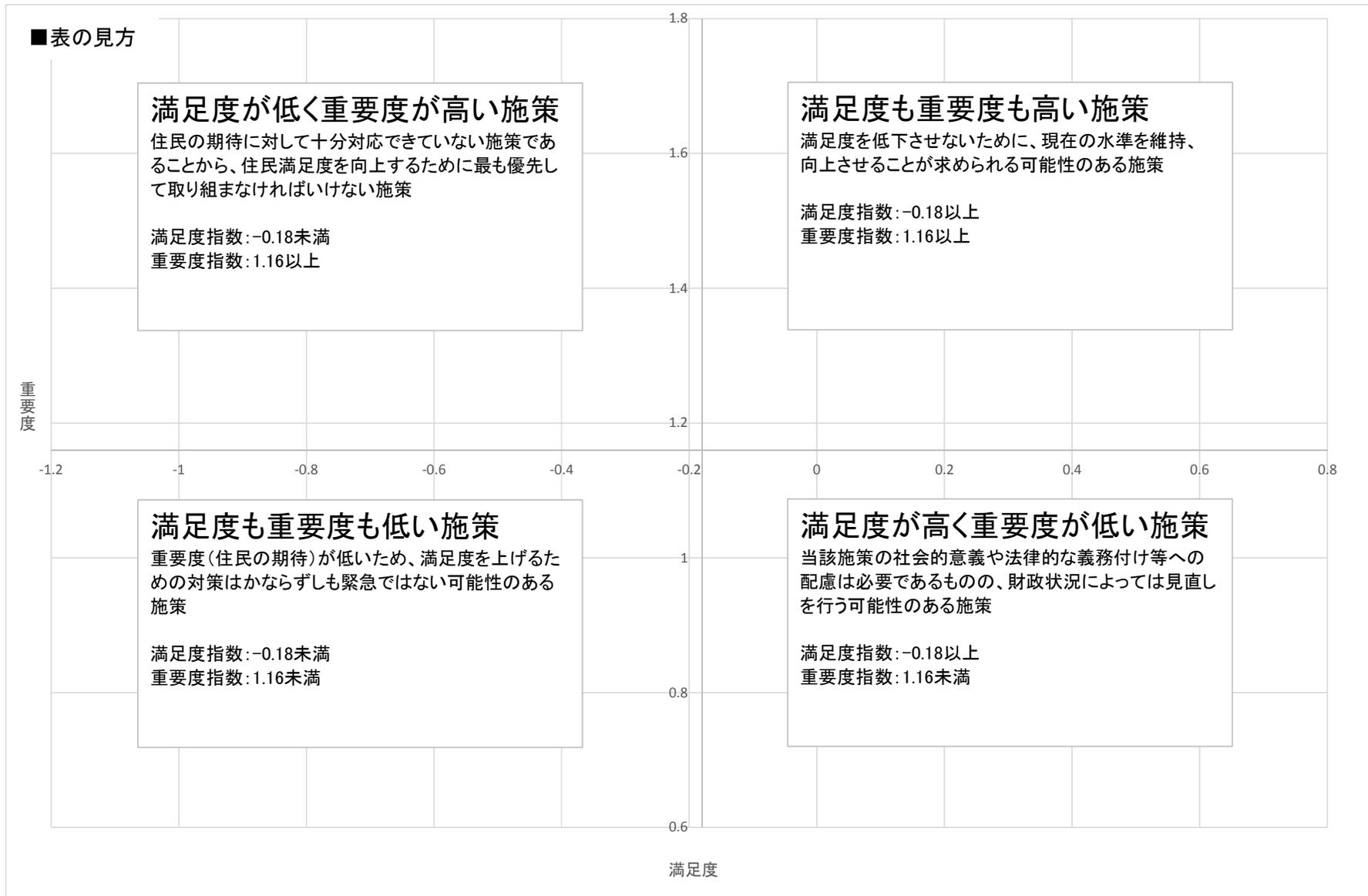
分野	施策	前回重要度指数	今回重要度指数	比較
健康福祉分野	子ども・子育て支援	1.19	1.43	0.24
	健康づくりの推進	1.39	1.47	0.08
	医療体制の充実	1.67	1.67	0.00
	障害者福祉・地域福祉の推進	1.01	1.24	0.23
	高齢者福祉の充実	1.25	1.23	-0.02
市民生活分野	市民との協働によるまちづくりの推進	0.59	0.78	0.19
	人権を尊重する社会の実現	0.74	1.05	0.31
	危機管理体制の充実	1.46	1.61	0.15
	防犯体制の充実	1.42	1.55	0.13
	交通安全対策	1.17	1.45	0.28
	市民サービスの向上	1.12	1.16	0.04
教育文化分野	創造性と確かな学力を育む教育の推進	1.36	1.27	-0.09
	教育環境の整備	1.36	1.20	-0.16
	人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進	—	1.11	—
	生涯学習の活発化	0.68	1.01	0.33
	文化財の保護と活用の推進	0.75	0.88	0.13
	生涯スポーツの促進	0.73	0.86	0.13
経済環境分野	農林業の振興	0.90	0.93	0.03
	商業の振興	1.08	1.26	0.18
	工業の振興	1.13	1.10	-0.03
	観光・レクリエーションの活発化	0.66	0.78	0.12
	勤労者対策の推進と消費者の安全と利益の確保	1.11	1.51	0.40
	環境対策の充実	1.21	1.11	-0.10
	廃棄物の処理とリサイクル	1.30	1.43	0.13
都市基盤分野	計画的なまちづくり	1.23	1.10	-0.13
	市街地整備	0.91	0.99	0.08
	道路・河川の整備と維持管理	1.22	1.29	0.07
	交通サービスの充実	1.15	1.29	0.14
	上水道の整備	1.40	1.29	-0.11
	下水道等の整備	1.34	1.31	-0.03
	都市公園の整備と緑化運動	0.96	1.08	0.12
行政経営分野	市民参加と透明性の高い行政経営の推進	0.80	0.82	0.02
	効率的・効果的な行政経営の推進	0.91	1.10	0.19
	早稲田大学との包括協定に基づく施策の推進	0.28	0.64	0.36
	電子自治体の推進	0.58	0.71	0.13
	自主性・自立性の高い財政運営の確立	1.28	1.11	-0.17

■満足度・重要度指数（アンケート）

	満足度指数	重要度指数
保育所など子育て支援が充実している	0.18	1.43
住民検診や健康指導が充実している	0.22	1.47
病院や診療所など医療機関が充実している	-0.61	1.67
障害者への支援体制が充実している	-0.17	1.24
高齢者への生きがい対策が充実している	-0.16	1.23
ボランティア活動や自治会活動が活発である	0.03	0.78
人権を尊重する社会が実現されている	-0.03	1.05
水害や地震などへの防災対策や消防・救急体制が整っている	-0.13	1.61
街路灯など防犯の面で安心である	-0.68	1.55
交通安全対策が充実している	-0.34	1.45
市の窓口サービスが向上している	0.05	1.16
学力を育む教育が充実している	-0.15	1.27
人権を尊重する教育が進んでいる	0.02	1.11
小・中学校の施設・設備が充実している	0.09	1.2
子どもから高齢者まで生涯学習が充実している	-0.09	1.01
歴史や伝統が大事にされている	0.48	0.88
スポーツ・レクリエーション施設が整っている	0.02	0.86
農林業の活気がある	-0.22	0.93
商業の活気がある	-0.9	1.26
工業の活気がある	-0.52	1.1
祭りやイベントが充実し観光客が増えている	-0.57	0.78
若者が希望する働く場が充実している	-1.02	1.51
環境に配慮した活動が進んでいる	-0.24	1.11
ごみの収集や資源回収体制が整備されている	0.55	1.43
まちの景観や街並みなどが美しい	-0.56	0.99
計画的なまちづくりが進んでいる	-0.42	1.1
道路や河川が整備されている	-0.41	1.29
バスや鉄道などが利用しやすい	-0.61	1.29
水道の整備が進んでいる	0.55	1.29
下水道（浄化槽を含む）の整備が進んでいる	0.15	1.31
身近なところに公園などの遊び場や居場所がある	-0.16	1.08
市の情報発信や情報公開が充実し、まちづくりへの市民参加機会がたくさんある	-0.12	0.82
市の行政改革が進んでいる	-0.3	1.1
早稲田大学とまちづくりに関する連携事業によって先進的なまちづくりが進んでいる	-0.07	0.64
インターネットを利用した行政サービスが充実している	-0.07	0.71
財産や公共施設が適正に管理され健全な財政運営が行われている	-0.12	1.11
各項目の平均	-0.18	1.16

■満足度・重要度指数グラフ



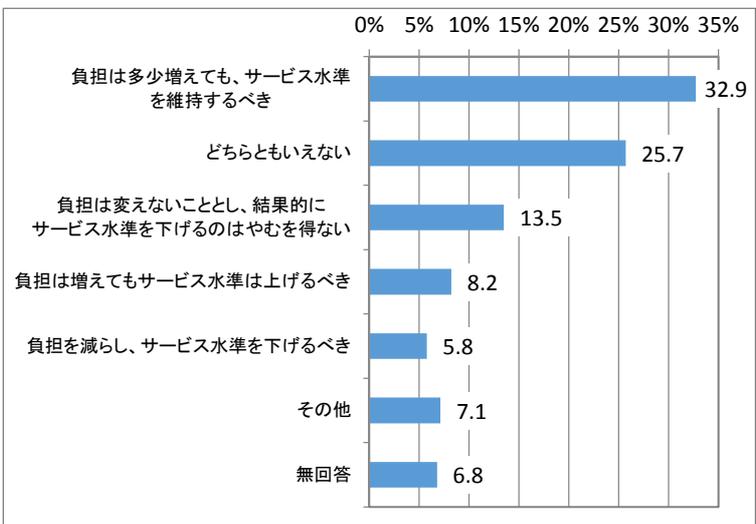


設問② 地方自治体を取り巻く環境が厳しさを増す中、行財政改革を進めて行く上で行政サービスと市民の負担とのバランスについて、どのようにお考えですか。

<1つ選択>

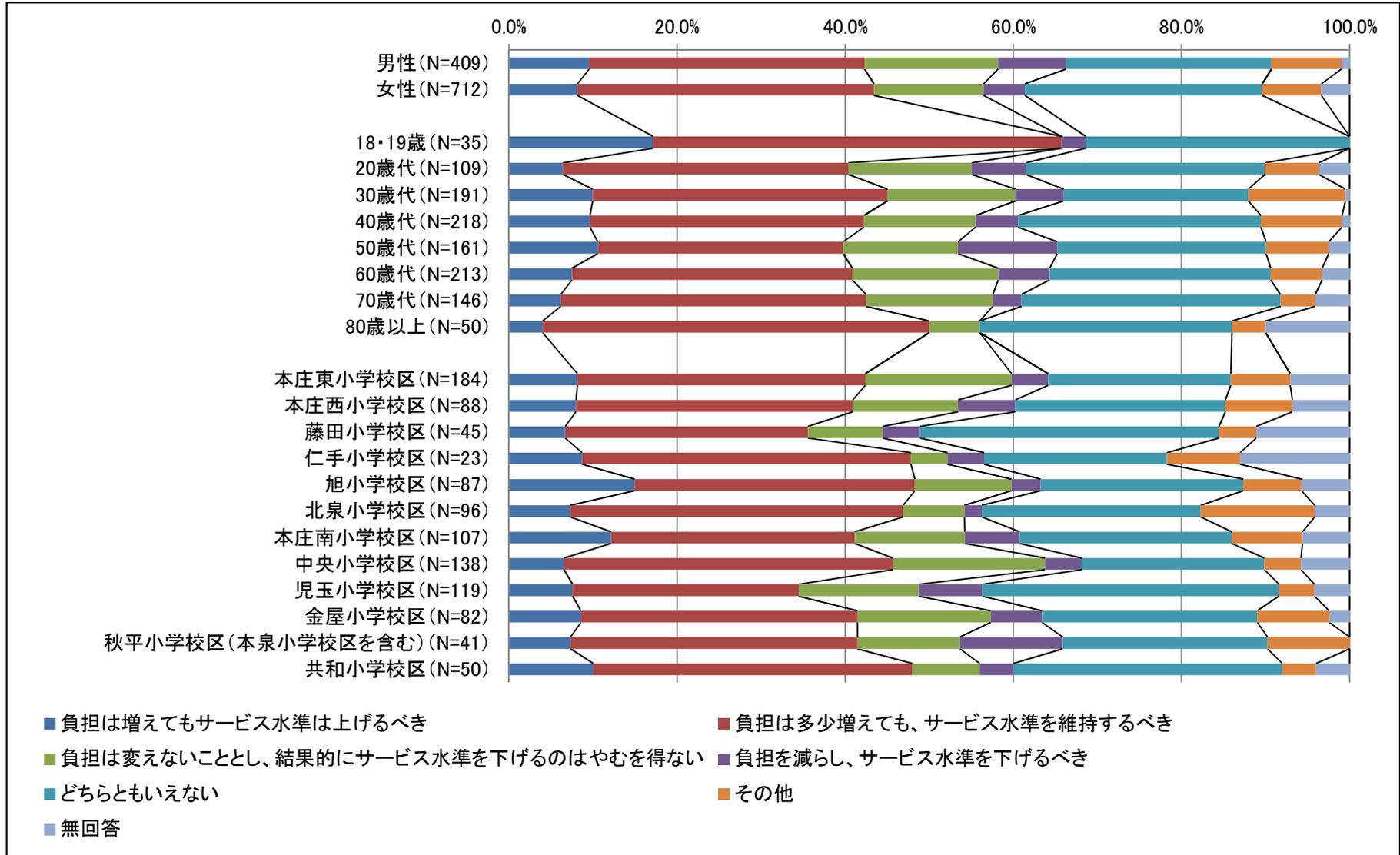
- ・「負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき」を挙げる人が 32.9%と最も多く、次いで「どちらともいえない」を挙げる人が 25.7%を占めています。
- ・年齢別に最も多い回答をみても、「負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき」を挙げる人が最も多くなっています。
- ・居住地区別に最も多い回答をみると、藤田・児玉小学校区では「どちらともいえない」を挙げる人が最も多く、上記を除いた小学校区では「負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき」を挙げる人が最も多くなっています。

	基数	割合
負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき	388	32.9%
どちらともいえない	303	25.7%
負担は変えないこととし、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	159	13.5%
負担は増えてもサービス水準は上げるべき	97	8.2%
負担を減らし、サービス水準を下げるべき	68	5.8%
その他	84	7.1%
無回答	80	6.8%
回答数	1,179	100.0%



		負担は増えてもサービス水準は上げるべき	負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき	負担は変えないこととし、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない	負担を減らし、サービス水準を下げるべき	どちらともいえない	その他	無回答
総数 (N=1179)		8.2%	32.9%	13.5%	5.8%	25.7%	7.1%	6.8%
性別	男性 (N=409)	9.5%	32.8%	15.9%	8.1%	24.4%	8.3%	1.0%
	女性 (N=712)	8.1%	35.3%	13.1%	4.9%	28.2%	7.0%	3.4%
年齢	18・19歳 (N=35)	17.1%	48.6%	0.0%	2.9%	31.4%	0.0%	0.0%
	20歳代 (N=109)	6.4%	33.9%	14.7%	6.4%	28.4%	6.4%	3.7%
	30歳代 (N=191)	9.9%	35.1%	15.2%	5.8%	22.0%	11.5%	0.5%
	40歳代 (N=218)	9.6%	32.6%	13.3%	5.0%	28.9%	9.6%	0.9%
	50歳代 (N=161)	10.6%	29.2%	13.7%	11.8%	24.8%	7.5%	2.5%
	60歳代 (N=213)	7.5%	33.3%	17.4%	6.1%	26.3%	6.1%	3.3%
	70歳代 (N=146)	6.2%	36.3%	15.1%	3.4%	30.8%	4.1%	4.1%
	80歳以上 (N=50)	4.0%	46.0%	6.0%	0.0%	30.0%	4.0%	10.0%
居住地区 (小学校区単位)	本庄東小学校区 (N=184)	8.2%	34.2%	17.4%	4.3%	21.7%	7.1%	7.1%
	本庄西小学校区 (N=88)	8.0%	33.0%	12.5%	6.8%	25.0%	8.0%	6.8%
	藤田小学校区 (N=45)	6.7%	28.9%	8.9%	4.4%	35.6%	4.4%	11.1%
	仁手小学校区 (N=23)	8.7%	39.1%	4.3%	4.3%	21.7%	8.7%	13.0%
	旭小学校区 (N=87)	14.9%	33.3%	11.5%	3.4%	24.1%	6.9%	5.7%
	北泉小学校区 (N=96)	7.3%	39.6%	7.3%	2.1%	26.0%	13.5%	4.2%
	本庄南小学校区 (N=107)	12.1%	29.0%	13.1%	6.5%	25.2%	8.4%	5.6%
	中央小学校区 (N=138)	6.5%	39.1%	18.1%	4.3%	21.7%	4.3%	5.8%
	児玉小学校区 (N=119)	7.6%	26.9%	14.3%	7.6%	35.3%	4.2%	4.2%
	金屋小学校区 (N=82)	8.5%	32.9%	15.9%	6.1%	25.6%	8.5%	2.4%
	秋平小学校区 (本泉小学校区を含む) (N=41)	7.3%	34.1%	12.2%	12.2%	24.4%	9.8%	0.0%
	共和小学校区 (N=50)	10.0%	38.0%	8.0%	4.0%	32.0%	4.0%	4.0%

■ サービスと市民の負担とのバランス

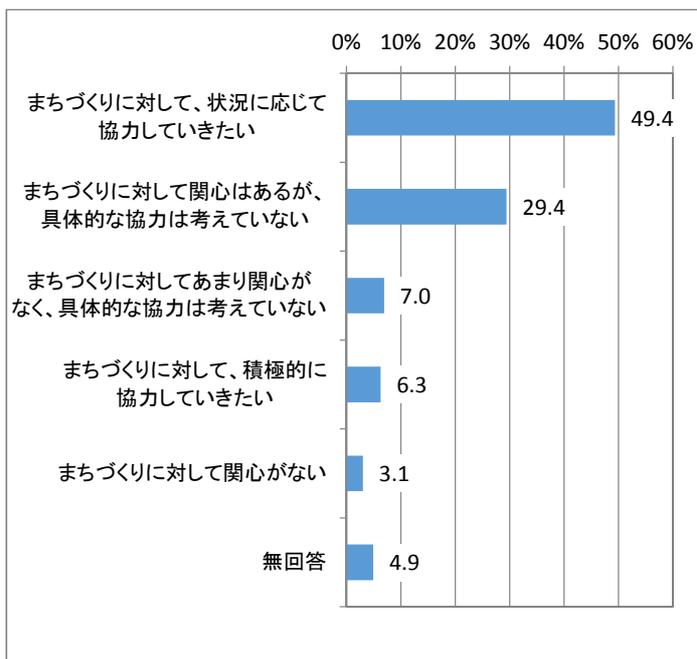


(3) 今後のまちづくりと本庄市の将来像について

設問① あなたはまちづくりにどのように関わっていきたいですか。〈1つ選択〉

- ・「まちづくりに対して、状況に応じて協力していききたい」を挙げる人が 49.4%と最も多く、次いで「まちづくりに対して関心はあるが、具体的な協力は考えていない」を挙げる人が 29.4%を占めています。
- ・まちづくりに対して協力的な回答（「まちづくりに対して、積極的に協力していききたい」「まちづくりに対して、状況に応じて協力していききたい」）を挙げる人は、55.7%を占めています。
- ・年齢別に最も多い回答をみると、80歳以上では「まちづくりに対して関心はあるが、具体的な協力は考えていない」を挙げる人が最も多く、その他の年代では「まちづくりに対して、状況に応じて協力していききたい」を挙げる人が最も多くなっています。
- ・居住地区別に最も多い回答を見ると、すべての地区で「まちづくりに対して、状況に応じて協力していききたい」を挙げる人が多くなっています。
- ・前回調査（平成24年）との比較では、まちづくりに対して協力的な回答（「積極的に協力していききたい」「状況に応じて協力していききたい」）を挙げる人は、63.7%から 55.7%と 8.0ポイント減少しています。

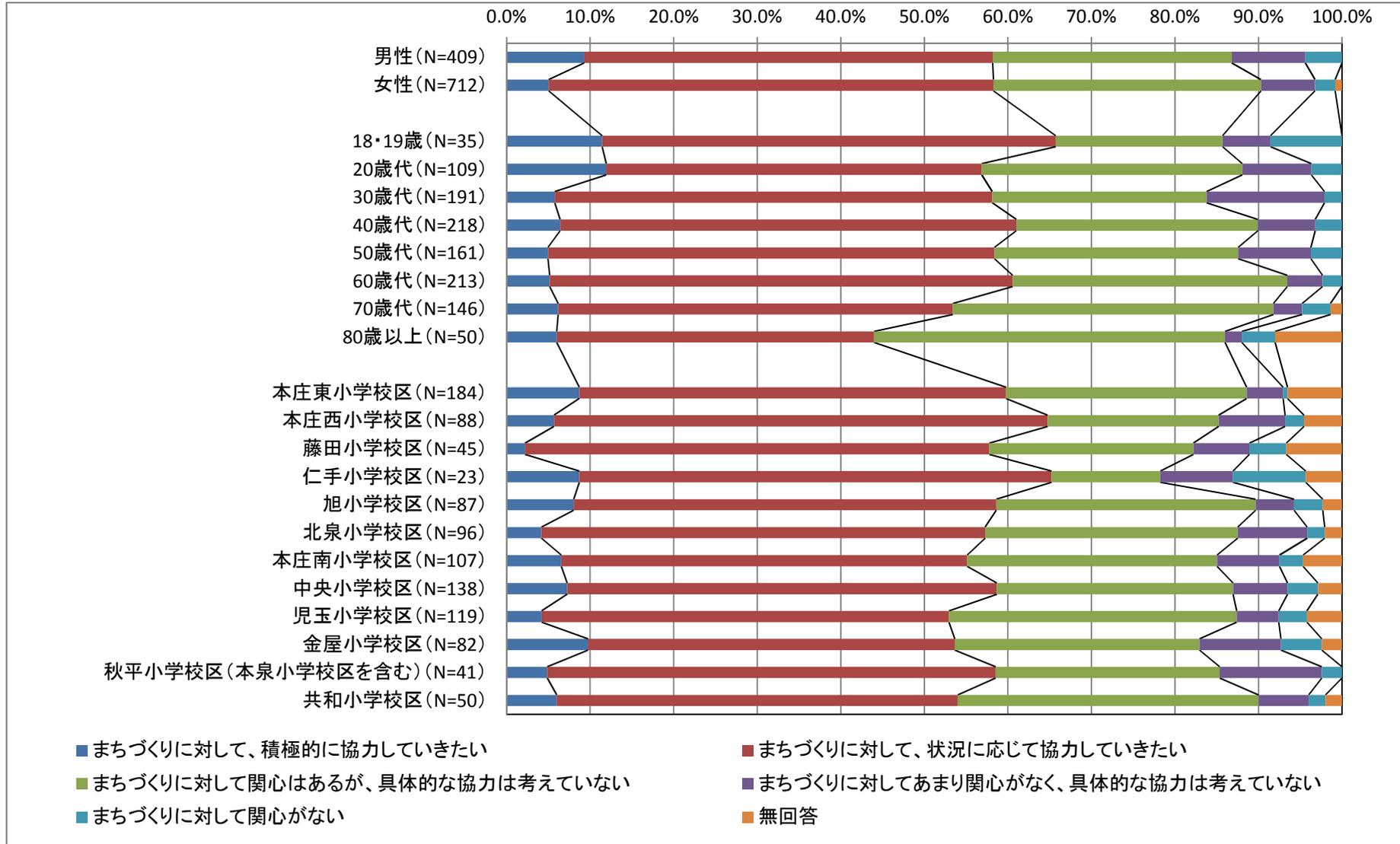
	基数	割合
まちづくりに対して、状況に応じて協力していききたい	582	49.4%
まちづくりに対して関心はあるが、具体的な協力は考えていない	347	29.4%
まちづくりに対してあまり関心がなく、具体的な協力は考えていない	82	7.0%
まちづくりに対して、積極的に協力していききたい	74	6.3%
まちづくりに対して関心がない	36	3.1%
無回答	58	4.9%
回答数	1,179	100.0%



■まちづくりの関わりかた

		まちづくり に対して、 積極的に 協力して いきたい	まちづくり に対して、 状況に応 じて協力し ていきた い	まちづくり に対して 関心はあ るが、具 体的な協 力は考え ていない	まちづくり に対して あまり関 心がなく、 具体的な 協力は考 えていな い	まちづくり に対して 関心がな い	無回答
総数(N=1179)		6.3%	49.4%	29.4%	7.0%	3.1%	4.9%
性別	男性(N=409)	9.3%	48.9%	28.6%	8.8%	4.4%	0.0%
	女性(N=712)	5.1%	53.2%	32.0%	6.5%	2.4%	0.8%
年齢	18・19歳(N=35)	11.4%	54.3%	20.0%	5.7%	8.6%	0.0%
	20歳代(N=109)	11.9%	45.0%	31.2%	8.3%	3.7%	0.0%
	30歳代(N=191)	5.8%	52.4%	25.7%	14.1%	2.1%	0.0%
	40歳代(N=218)	6.4%	54.6%	28.9%	6.9%	3.2%	0.0%
	50歳代(N=161)	5.0%	53.4%	29.2%	8.7%	3.7%	0.0%
	60歳代(N=213)	5.2%	55.4%	32.9%	4.2%	2.3%	0.0%
	70歳代(N=146)	6.2%	47.3%	38.4%	3.4%	3.4%	1.4%
	80歳以上(N=50)	6.0%	38.0%	42.0%	2.0%	4.0%	8.0%
居住地区 (小学校 区単位)	本庄東小学校区(N=184)	8.7%	51.1%	28.8%	4.3%	0.5%	6.5%
	本庄西小学校区(N=88)	5.7%	59.1%	20.5%	8.0%	2.3%	4.5%
	藤田小学校区(N=45)	2.2%	55.6%	24.4%	6.7%	4.4%	6.7%
	仁手小学校区(N=23)	8.7%	56.5%	13.0%	8.7%	8.7%	4.3%
	旭小学校区(N=87)	8.0%	50.6%	31.0%	4.6%	3.4%	2.3%
	北泉小学校区(N=96)	4.2%	53.1%	30.2%	8.3%	2.1%	2.1%
	本庄南小学校区(N=107)	6.5%	48.6%	29.9%	7.5%	2.8%	4.7%
	中央小学校区(N=138)	7.2%	51.4%	28.3%	6.5%	3.6%	2.9%
	児玉小学校区(N=119)	4.2%	48.7%	34.5%	5.0%	3.4%	4.2%
	金屋小学校区(N=82)	9.8%	43.9%	29.3%	9.8%	4.9%	2.4%
	秋平小学校区(本泉小学校区を含む)(N=41)	4.9%	53.7%	26.8%	12.2%	2.4%	0.0%
	共和小学校区(N=50)	6.0%	48.0%	36.0%	6.0%	2.0%	2.0%

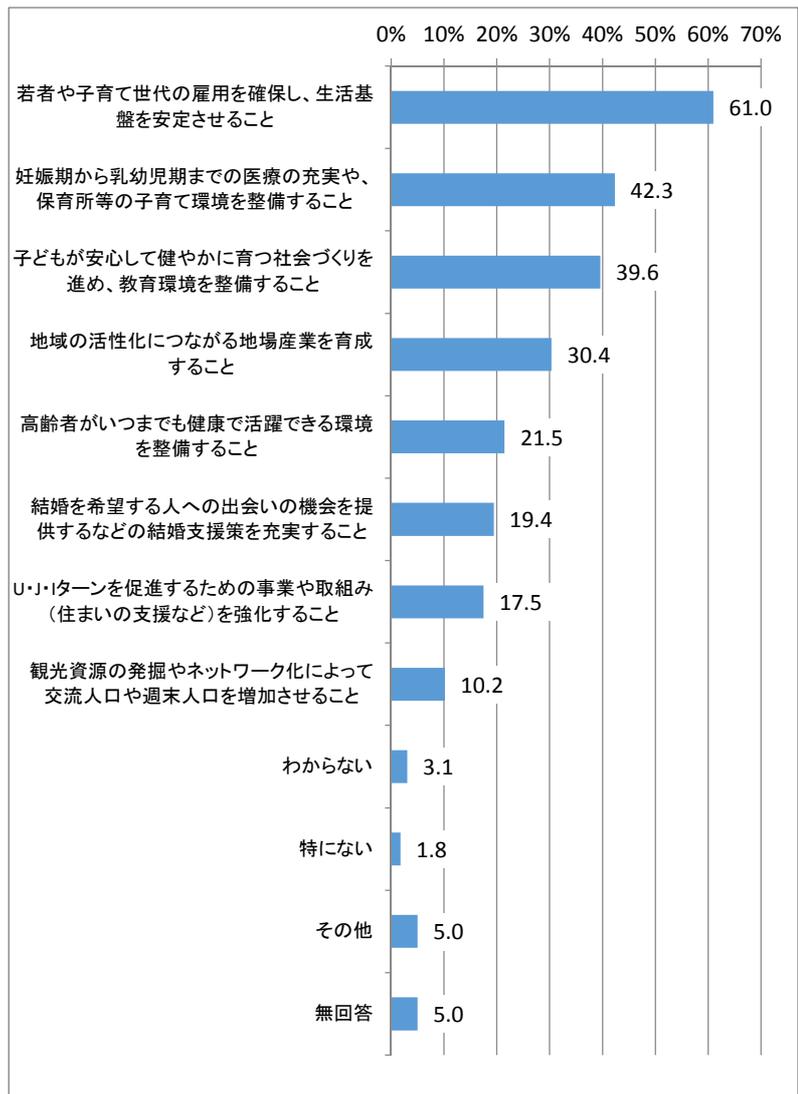
■まちづくりの関わりかた



設問② 本庄市では人口が減少傾向にあり、今後もさらに減少していくことが予想されています。人口減少に歯止めをかけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 <3つまで>

- ・「若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること」を挙げる人が 61.0%と最も多く、次いで「妊娠期から乳幼児期までの医療の充実や、保育所等の子育て環境を整備すること」を挙げる人が 42.3%、「子どもが安心して健やかに育つ社会づくりを進め、教育環境を整備すること」を挙げる人が 39.6%を占めています。
- ・年齢別に最も多い回答をみると、30歳代では「妊娠期から乳幼児期までの医療の充実や、保育所等の子育て環境を整備すること」「若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること」を挙げる人が同率で最も多くなっており、それ以外の年代では「若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること」を挙げる人が最も多くなっています。
- ・居住地区別に最も多い回答をみると、仁手小学校区では「妊娠期から乳幼児期までの医療の充実や、保育所等の子育て環境を整備すること」を挙げる人が最も多くなっており、それ以外の小学校区では「若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること」を挙げる人が最も多くなっています。

	基数	割合
若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること	719	61.0%
妊娠期から乳幼児期までの医療の充実や、保育所等の子育て環境を整備すること	499	42.3%
子どもが安心して健やかに育つ社会づくりを進め、教育環境を整備すること	467	39.6%
地域の活性化につながる地場産業を育成すること	358	30.4%
高齢者がいつまでも健康で活躍できる環境を整備すること	253	21.5%
結婚を希望する人への出会いの機会を提供するなどの結婚支援策を充実すること	229	19.4%
U・J・ターンを促進するための事業や取組み（住まいの支援など）を強化すること	206	17.5%
観光資源の発掘やネットワーク化によって交流人口や週末人口を増加させること	120	10.2%
わからない	36	3.1%
特にない	21	1.8%
その他	59	5.0%
無回答	59	5.0%
回答数	1,179	100.0%



■人口減少のための施策

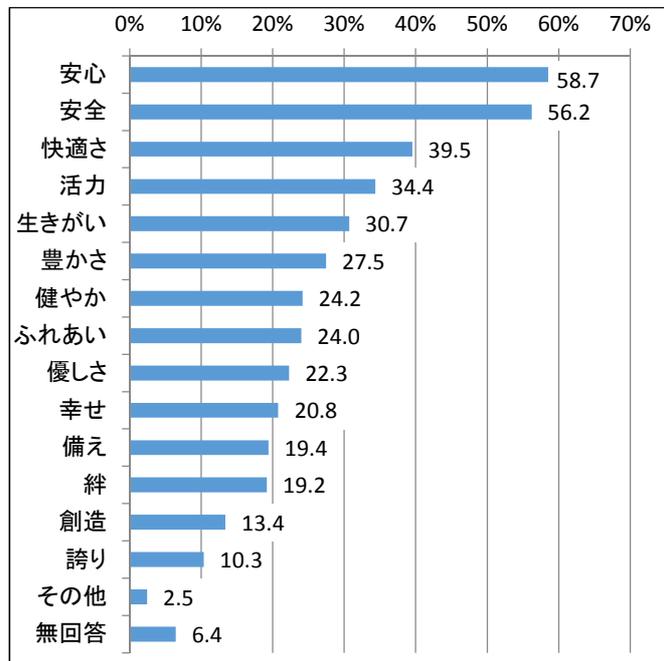
		結婚を希望する人への出会いの機会を提供するなどの結婚支援策を実施すること	妊娠期から乳幼児期までの医療の充実や、保育所等の子育て環境を整備すること	子どもが安心して健やかに育つ社会づくりを進め、教育環境を整備すること	若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること	地域の活性化につながる地域産業を育成すること	高齢者がいつまでも健康で活躍できる環境を整備すること
総数(N=1179)		19.4%	42.3%	39.6%	61.0%	30.4%	21.5%
性別	男性(N=409)	23.7%	42.8%	36.4%	61.1%	33.3%	19.1%
	女性(N=712)	18.1%	45.5%	44.4%	65.6%	30.8%	24.4%
年齢	18・19歳(N=35)	17.1%	42.9%	48.6%	65.7%	17.1%	8.6%
	20歳代(N=109)	24.8%	54.1%	46.8%	68.8%	15.6%	14.7%
	30歳代(N=191)	17.8%	62.8%	48.7%	62.8%	24.1%	11.5%
	40歳代(N=218)	19.7%	47.7%	46.8%	61.5%	29.8%	19.3%
	50歳代(N=161)	16.8%	42.2%	28.6%	62.1%	34.2%	25.5%
	60歳代(N=213)	17.4%	38.0%	39.4%	73.2%	45.1%	29.6%
	70歳代(N=146)	27.4%	26.7%	34.9%	55.5%	39.0%	31.5%
	80歳以上(N=50)	30.0%	20.0%	44.0%	56.0%	30.0%	34.0%
居住地区 (小学校区単位)	本庄東小学校区(N=184)	22.8%	45.1%	34.2%	57.6%	32.6%	19.6%
	本庄西小学校区(N=88)	15.9%	38.6%	43.2%	56.8%	31.8%	19.3%
	藤田小学校区(N=45)	20.0%	48.9%	37.8%	71.1%	42.2%	20.0%
	仁手小学校区(N=23)	17.4%	65.2%	30.4%	60.9%	39.1%	30.4%
	旭小学校区(N=87)	17.2%	42.5%	48.3%	66.7%	31.0%	24.1%
	北泉小学校区(N=96)	17.7%	50.0%	46.9%	63.5%	35.4%	17.7%
	本庄南小学校区(N=107)	15.0%	42.1%	49.5%	61.7%	27.1%	22.4%
	中央小学校区(N=138)	21.0%	46.4%	43.5%	63.0%	34.1%	21.0%
	児玉小学校区(N=119)	26.1%	37.0%	40.3%	63.9%	24.4%	27.7%
	金屋小学校区(N=82)	20.7%	39.0%	29.3%	63.4%	32.9%	17.1%
	秋平小学校区(本泉小学校区を含む)(N=41)	26.8%	36.6%	48.8%	65.9%	19.5%	22.0%
共和小学校区(N=50)	22.0%	46.0%	30.0%	66.0%	30.0%	16.0%	

		観光資源の発掘やネットワーク化によって交流人口や週末人口を増加させること	U・J・1ターンを促進するための事業や取組み(住まいの支援など)を強化すること	特にない	わからない	その他	無回答
総数(N=1179)		10.2%	17.5%	1.8%	3.1%	5.0%	5.0%
性別	男性(N=409)	12.2%	21.3%	1.7%	3.9%	6.4%	0.2%
	女性(N=712)	9.8%	16.6%	1.8%	2.8%	4.6%	0.8%
年齢	18・19歳(N=35)	17.1%	17.1%	0.0%	2.9%	5.7%	2.9%
	20歳代(N=109)	15.6%	13.8%	0.0%	1.8%	5.5%	0.0%
	30歳代(N=191)	12.0%	19.9%	1.6%	2.1%	9.4%	1.0%
	40歳代(N=218)	8.3%	24.3%	1.4%	1.8%	5.5%	0.5%
	50歳代(N=161)	11.8%	22.4%	4.3%	2.5%	4.3%	0.0%
	60歳代(N=213)	9.4%	17.8%	1.9%	3.3%	4.7%	0.0%
	70歳代(N=146)	8.9%	11.6%	2.1%	6.8%	1.4%	0.7%
	80歳以上(N=50)	8.0%	4.0%	2.0%	8.0%	2.0%	4.0%
居住地区 (小学校区単位)	本庄東小学校区(N=184)	10.9%	18.5%	0.5%	3.3%	8.2%	6.0%
	本庄西小学校区(N=88)	12.5%	21.6%	1.1%	3.4%	3.4%	4.5%
	藤田小学校区(N=45)	4.4%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	6.7%
	仁手小学校区(N=23)	8.7%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%
	旭小学校区(N=87)	3.4%	20.7%	0.0%	0.0%	3.4%	2.3%
	北泉小学校区(N=96)	10.4%	18.8%	1.0%	1.0%	7.3%	2.1%
	本庄南小学校区(N=107)	15.0%	15.0%	1.9%	0.9%	4.7%	4.7%
	中央小学校区(N=138)	14.5%	23.2%	1.4%	2.2%	1.4%	2.9%
	児玉小学校区(N=119)	6.7%	16.8%	1.7%	3.4%	2.5%	4.2%
	金屋小学校区(N=82)	8.5%	14.6%	6.1%	3.7%	9.8%	3.7%
	秋平小学校区(本泉小学校区を含む)(N=41)	9.8%	19.5%	2.4%	2.4%	2.4%	0.0%
共和小学校区(N=50)	10.0%	20.0%	6.0%	2.0%	0.0%	2.0%	

設問③ 今後、本庄市が目指していく将来像を表すものとして、どのような言葉（キーワード）がふさわしいと思いますか。＜該当するものすべてを選択＞

- ・「安心」を挙げる人が58.7%と最も多く、次いで「安全」を挙げる人が56.2%、「快適さ」を挙げる人が39.5%、「活力」を挙げる人が34.4%、「生きがい」を挙げる人が30.7%を占めています。
- ・年齢別に最も多い回答をみると、18・19歳代では「快適さ」を挙げる人が最も多く、40歳代では「安全」を挙げる人が最も多くなっています。上記を除いた年代では「安心」が最も多くなっています。また80歳以上では「安心」「安全」が同率一位で挙げられています。
- ・居住地区別に最も多い回答をみると、本庄東・本庄西・本庄南小学校区では「安全」を挙げる人が最も多く、上記を除いた小学校区では「安心」が最も多くなっています。

	基数	割合
安心	692	58.7%
安全	663	56.2%
快適さ	466	39.5%
活力	405	34.4%
生きがい	362	30.7%
豊かさ	324	27.5%
健やか	285	24.2%
ふれあい	283	24.0%
優しさ	263	22.3%
幸せ	245	20.8%
備え	229	19.4%
絆	226	19.2%
創造	158	13.4%
誇り	122	10.3%
その他	29	2.5%
無回答	76	6.4%
回答数	1,179	100.0%



■市の将来像を表す言葉

		豊かさ	安全	快適さ	安心	幸せ	優しさ	備え	絆
総数(N=1179)		27.5%	56.2%	39.5%	58.7%	20.8%	22.3%	19.4%	19.2%
性別	男性(N=409)	26.7%	56.2%	39.1%	60.6%	20.5%	22.5%	18.3%	18.1%
	女性(N=712)	30.2%	60.4%	43.0%	61.9%	22.6%	24.0%	21.6%	21.3%
年齢	18・19歳(N=35)	42.9%	62.9%	65.7%	57.1%	34.3%	28.6%	34.3%	22.9%
	20歳代(N=109)	28.4%	57.8%	52.3%	61.5%	24.8%	23.9%	19.3%	14.7%
	30歳代(N=191)	26.7%	57.6%	48.7%	66.0%	27.7%	18.3%	20.9%	18.3%
	40歳代(N=218)	26.1%	57.3%	43.6%	56.4%	19.3%	19.7%	22.0%	15.1%
	50歳代(N=161)	27.3%	55.9%	41.0%	60.2%	19.9%	23.0%	14.9%	16.1%
	60歳代(N=213)	31.9%	63.4%	33.8%	66.2%	21.1%	25.8%	19.7%	24.4%
	70歳代(N=146)	28.8%	57.5%	30.8%	58.9%	15.8%	28.1%	20.5%	29.5%
	80歳以上(N=50)	28.0%	60.0%	26.0%	60.0%	20.0%	30.0%	22.0%	24.0%
居住地区 (小学校 区単位)	本庄東小学校区(N=184)	29.9%	61.4%	40.8%	59.8%	25.5%	22.8%	23.9%	23.4%
	本庄西小学校区(N=88)	30.7%	61.4%	40.9%	55.7%	19.3%	27.3%	21.6%	22.7%
	藤田小学校区(N=45)	22.2%	44.4%	44.4%	48.9%	15.6%	20.0%	20.0%	20.0%
	仁手小学校区(N=23)	43.5%	60.9%	43.5%	78.3%	30.4%	39.1%	17.4%	30.4%
	旭小学校区(N=87)	26.4%	58.6%	39.1%	60.9%	20.7%	24.1%	14.9%	19.5%
	北泉小学校区(N=96)	29.2%	58.3%	51.0%	62.5%	27.1%	25.0%	29.2%	17.7%
	本庄南小学校区(N=107)	26.2%	53.3%	36.4%	48.6%	18.7%	25.2%	15.9%	23.4%
	中央小学校区(N=138)	34.1%	58.7%	47.1%	66.7%	19.6%	17.4%	23.9%	17.4%
	児玉小学校区(N=119)	27.7%	48.7%	36.1%	58.8%	21.0%	21.0%	10.1%	14.3%
	金屋小学校区(N=82)	26.8%	53.7%	32.9%	58.5%	19.5%	15.9%	17.1%	19.5%
	秋平小学校区(本泉小学校区を 含む)(N=41)	31.7%	58.5%	34.1%	68.3%	29.3%	29.3%	19.5%	22.0%
	共和小学校区(N=50)	24.0%	56.0%	36.0%	62.0%	20.0%	22.0%	12.0%	16.0%

		ふれあい	生きがい	創造	誇り	活力	健やか	その他	無回答
総数(N=1179)		24.0%	30.7%	13.4%	10.3%	34.4%	24.2%	2.5%	6.4%
性別	男性(N=409)	22.0%	32.3%	18.1%	10.8%	34.0%	21.8%	2.9%	2.0%
	女性(N=712)	26.8%	32.2%	11.8%	11.0%	37.2%	27.2%	2.4%	2.4%
年齢	18・19歳(N=35)	31.4%	22.9%	20.0%	20.0%	40.0%	31.4%	2.9%	2.9%
	20歳代(N=109)	21.1%	19.3%	16.5%	15.6%	28.4%	21.1%	2.8%	0.9%
	30歳代(N=191)	23.6%	18.8%	11.5%	7.9%	34.0%	22.5%	2.6%	2.1%
	40歳代(N=218)	23.4%	21.1%	14.7%	9.6%	37.6%	20.6%	3.7%	1.4%
	50歳代(N=161)	20.5%	34.8%	14.3%	5.6%	37.3%	24.8%	1.9%	1.9%
	60歳代(N=213)	29.6%	48.8%	16.4%	10.3%	44.1%	31.9%	2.8%	0.9%
	70歳代(N=146)	28.1%	41.8%	12.3%	15.8%	30.8%	24.0%	2.1%	6.2%
	80歳以上(N=50)	30.0%	56.0%	6.0%	16.0%	24.0%	36.0%	0.0%	4.0%
居住地区 (小学校 区単位)	本庄東小学校区(N=184)	25.5%	28.3%	15.2%	13.6%	40.8%	28.8%	1.6%	7.6%
	本庄西小学校区(N=88)	28.4%	33.0%	9.1%	10.2%	31.8%	26.1%	3.4%	4.5%
	藤田小学校区(N=45)	26.7%	35.6%	11.1%	6.7%	31.1%	17.8%	4.4%	8.9%
	仁手小学校区(N=23)	34.8%	30.4%	21.7%	21.7%	47.8%	21.7%	4.3%	4.3%
	旭小学校区(N=87)	20.7%	36.8%	8.0%	8.0%	29.9%	29.9%	2.3%	5.7%
	北泉小学校区(N=96)	26.0%	32.3%	11.5%	11.5%	47.9%	26.0%	2.1%	3.1%
	本庄南小学校区(N=107)	24.3%	29.9%	9.3%	10.3%	30.8%	20.6%	1.9%	6.5%
	中央小学校区(N=138)	20.3%	26.8%	18.1%	12.3%	34.1%	28.3%	1.4%	4.3%
	児玉小学校区(N=119)	21.8%	29.4%	15.1%	5.9%	28.6%	21.0%	1.7%	5.9%
	金屋小学校区(N=82)	35.4%	29.3%	18.3%	14.6%	35.4%	24.4%	2.4%	4.9%
	秋平小学校区(本泉小学校区を 含む)(N=41)	19.5%	43.9%	17.1%	12.2%	48.8%	36.6%	4.9%	0.0%
	共和小学校区(N=50)	26.0%	28.0%	14.0%	4.0%	24.0%	16.0%	4.0%	2.0%

(4) これからのまちづくりに関するご意見等

問4 これからのまちづくりに関するご意見等がございましたら、ご自由にお書きください。

比較的意見が多く寄せられた10施策について、それぞれ代表的な意見を記載します。

■健康福祉分野

【子ども・子育て支援】(29件)

- ・住みやすい本庄市になる為には子供を安心して生み、育てられる環境作りにあります。具体的には本庄市の独自性(カラー)をしっかり出し、他よりも子育てに対する補償を手厚くするべきだと考えます。
- ・安心して子育てが出来る環境。保育園、子育て支援センター共に現場スタッフは頑張っているが、給与面では時給800円程度、スタッフの給与充実を応援して頂けたら、よりよいサービスの提供が出来る…と思います。シニアの就労応援、生きがいと共に収入を得、地元消費につながると思います。

【医療体制の充実】(37件)

- ・とにかく夜中に病気になった時に安心して対応して頂ける、救急病院が無さすぎます。市内に24時間診察して頂ける病院、救急病院があると助かります。
- ・公立総合病院の建設を望む。
- ・土、日曜日の病院がやって欲しい。
- ・充実した総合病院が欲しい。介護施設をもっと充実してもらいたい。

■教育文化分野

【教育環境の整備】(23件)

- ・県北の学園都市をめざす街づくりを考えて下さい。教育に重きを置けば、カソ化は防げます。県南から通学している学生をもっと増せるような文教都市に!
- ・ベッドタウン化がいちじるしいが、近辺に働く場がなく、大学や専門学校も少ないので、若者は離れていくことが予想できる。早稲田周辺を整備したのは良いが、その後の将来像が見えない。新しい産業の誘致や大学、専門学校の設置など、未来につながる一步を期待します。

■経済環境分野

【商業の振興】(60件)

- ・大型ショッピングモールや企業を誘致して、人が集まる街にしてほしい。
- ・子ども達が成長して都会へ行かなくても、本庄市で休日をごせる町にしてほしいです。商業に力を入れてほしい。
- ・市内中心部でも閉店しているお店を多数見かけるため、大型ショッピング施設に引けをとらない策を講じて、それらの店を再生させ、活力のある市であるという印象を与えたい。
- ・本庄駅前、銀座通りの活気のなさがとても気になる。郊外部だった新幹線駅前も、とても活気があり、落差がすごい。本庄の顔となる本庄駅周辺の整備をしてもらいたい。

【観光・レクリエーションの活発化】(28件)

- ・本庄花火大会が復活してほしいです。
- ・せっかく児玉町といっしょになったのだから、児玉党や塙保己一など、もっと郷土の歴史のPRと、市民への浸透に力を入れ、歴史に裏打ちされた郷土に対する誇りを持てるようにし、観光資源としても活かしていくべき。現状では、江戸時代、中山道宿中のNo.1と言われた歴史が泣いている。
- ・観光名所、名物等の本庄市だけの物を売りに、他からの人の流れをつくり、町を活性化させていく必要はあるのではと考えます。まずは、本庄住人が本庄愛を持てる町づくりをするべきではないでしょうか。

■都市基盤分野

【市街地整備】(39件)

- ・本庄早稲田周辺の開発が進んでおり、本庄市の発展につながると思う。しかし、銀座通りや三交通りなど、以前本庄市を支えた商店街の活力等、今後検討にしていきたい。
- ・はにぼんプラザはとても利用しやすい施設です。ただ、駐車場が狭すぎます。これからの施設は駐車場が狭いと利用できないので、考慮してほしい。つきみ荘のお風呂の施設を整備して下さい。既にある施設を活用することも大事だと思います。本庄駅北側、特に中山道沿いの再開発は難しいのでしょうか。寂しい感じがいたします。
- ・これから人口減少に対して空家が増えると思います。対策が必要だと思います。
- ・本庄早稲田駅周辺は立地条件としてきっとこれから開けていけるであろう様子が見られるのですが、本庄駅に関してはどうでしょうか。駐車場は近くにたくさんあり、電車を利用するには便利ですが、なにか寂びれてしまっているようで……。隣接して商業施設など出来ないものなのでしょうか。駅自体にも特徴を出せるものがあつたら良いのかなと思います。

【道路・河川の整備と維持管理】(31件)

- ・これからお年よりの多くなるので、歩きやすい道路、交通など考えてほしいです。
- ・国道17号が朝、晩、日曜日等大変混雑して困ります。バイパスの建設等計画策はあるのですか？道路が至る所で段差があり、見た目も悪く、直す予定はありますか？
- ・千本桜をせっかく遠くから見に来ているのに、河川が汚くてがっかりしたという人を何人も見た。
- ・道路の街灯設置していない所は設置し、歩行者用道路が森林や草で通れない所があるので、整備して欲しい。

【交通サービスの充実】(37件)

- ・本庄駅と本庄早稲田駅が離れている為、少し不便に感じます。駅を行き来する専用のバス等があれば市内在住の人も市外から来る人も便利に感じると思います。個人的にですが、東京方面にも群馬方面にも行きやすく、新幹線の停車駅もあるのに少しもったいない気がします。
- ・はにぼん号をもっと使いやすくして、活用できるようにしてほしい。はにぼん号が走っているのを見た事が無い。

【都市公園の整備と緑化推進】(22件)

- ・子供が遊ぶ施設(公園)が少なすぎると思います。総合公園も、昔は水遊びが出来たのですが、今は汚くて使用できません。公園があっても、遊具のない公園が多く、意味がないと思います。ベルクの中の遊ぶスペースなど、すごく助かるので、市がもっと協力して作って頂きたいです。
- ・かつて本庄市は「緑と健康のまち」がキャッチフレーズの1つだったような気がします。これからも開発も必要と思いますが、自然保護や緑化、植樹などの事業もずっと継続して行って欲しいです。そういう余裕のある地域だと思うので。長期的には東松山、秩父などにある県立の森林公園など近くにあればいいなあと思います。
- ・週末にあそべる公園や施設がもう少しあれば、本庄市内での消費につながって良いと思います。子どもに優しい公園などが増えれば、長く住みたいと思います。

■行財政経営分野

【効率的・効果的な行政経営の推進】(47件)

- ・市役所や郵便局が本庄駅の北口にあり、南口方面、特に早稲田駅周辺に出張施設などあれば便利だと思います（混雑の分散化にもなる）。はにぼんプラザみたいなのを早稲田駅側にも作り、そこに手続き等なできる施設を作る。
- ・役所内で対応の良い人、悪い人います。又、仕事マニュアル化を知らない人もいます。市民が安心して相談できる対応してもらいたい。
- ・私は現在、子育て中だが、近くに公園などがなく、大変不便を感じる。もっと子どもの為の施設が欲しい。あと“はにぼん”をゆるキャラグランプリ1位にするために、お金をつかい過ぎだと思う。（車やポスター、シールetc）もっと違うところに費やして欲しい。
- ・他のいろいろな市町村の情報収集をし、良い部分は積極的に取り入れる様な柔軟な活動を期待しています。

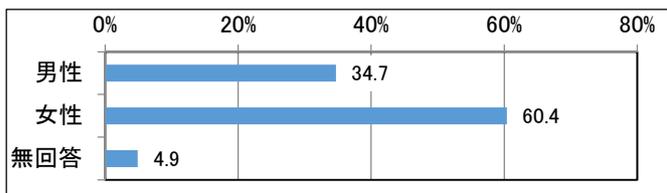
(5) 回答者属性

問5 あなた自身について、以下の設問ごとに該当する番号1つに○印をお付けください。

性別

- ・「男性」を挙げる人が34.7%、「女性」を挙げる人が60.4%を占めています。

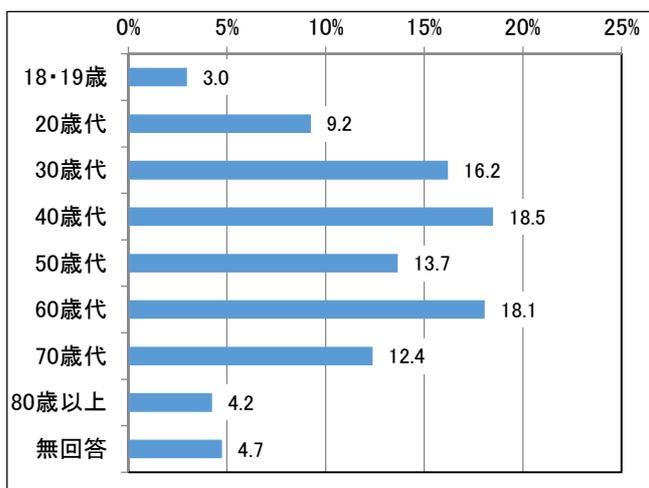
	基数	割合
男性	409	34.7%
女性	712	60.4%
無回答	58	4.9%
回答数	1,179	100.0%



年齢

- ・「40歳代」を挙げる人が18.5%と最も多く、次いで「60歳代」を挙げる人が18.1%となっています。
- ・回答者の年代は概ねばらけています。

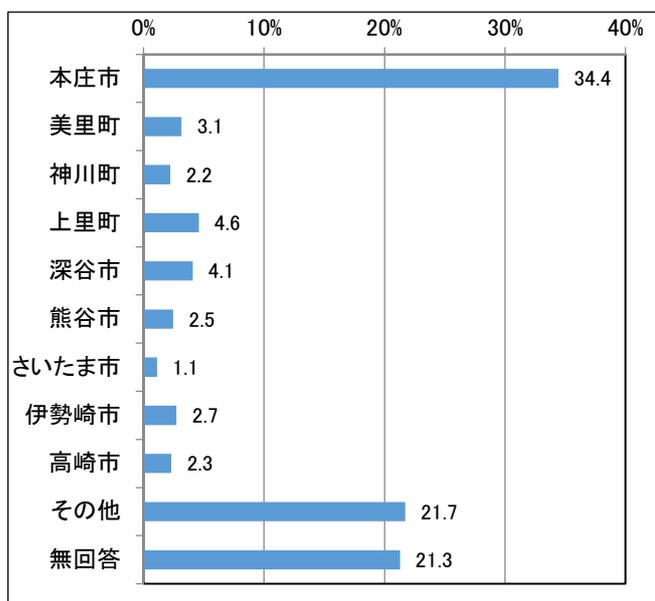
	基数	割合
18・19歳	35	3.0%
20歳代	109	9.2%
30歳代	191	16.2%
40歳代	218	18.5%
50歳代	161	13.7%
60歳代	213	18.1%
70歳代	146	12.4%
80歳以上	50	4.2%
無回答	56	4.7%
回答数	1,179	100.0%



通勤・通学先

- ・「本庄市」を挙げる人が 34.4%と最も多く、次いで「その他」を挙げる人が 21.7%を占めています。

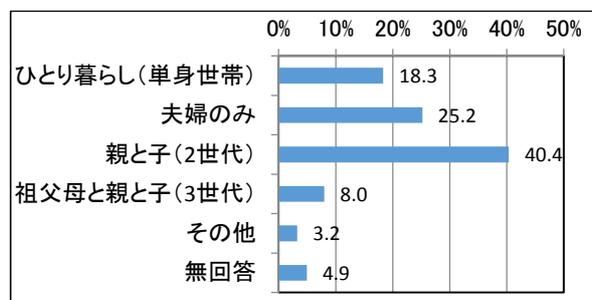
	基数	割合
本庄市	406	34.4%
美里町	37	3.1%
神川町	26	2.2%
上里町	54	4.6%
深谷市	48	4.1%
熊谷市	29	2.5%
さいたま市	13	1.1%
伊勢崎市	32	2.7%
高崎市	27	2.3%
その他	256	21.7%
無回答	251	21.3%
回答数	1,179	100.0%



世帯構成

- ・「親と子(2世代)」を挙げる人が 40.4%と最も多く、次いで「夫婦のみ」を挙げる人が 25.2%を占めています。

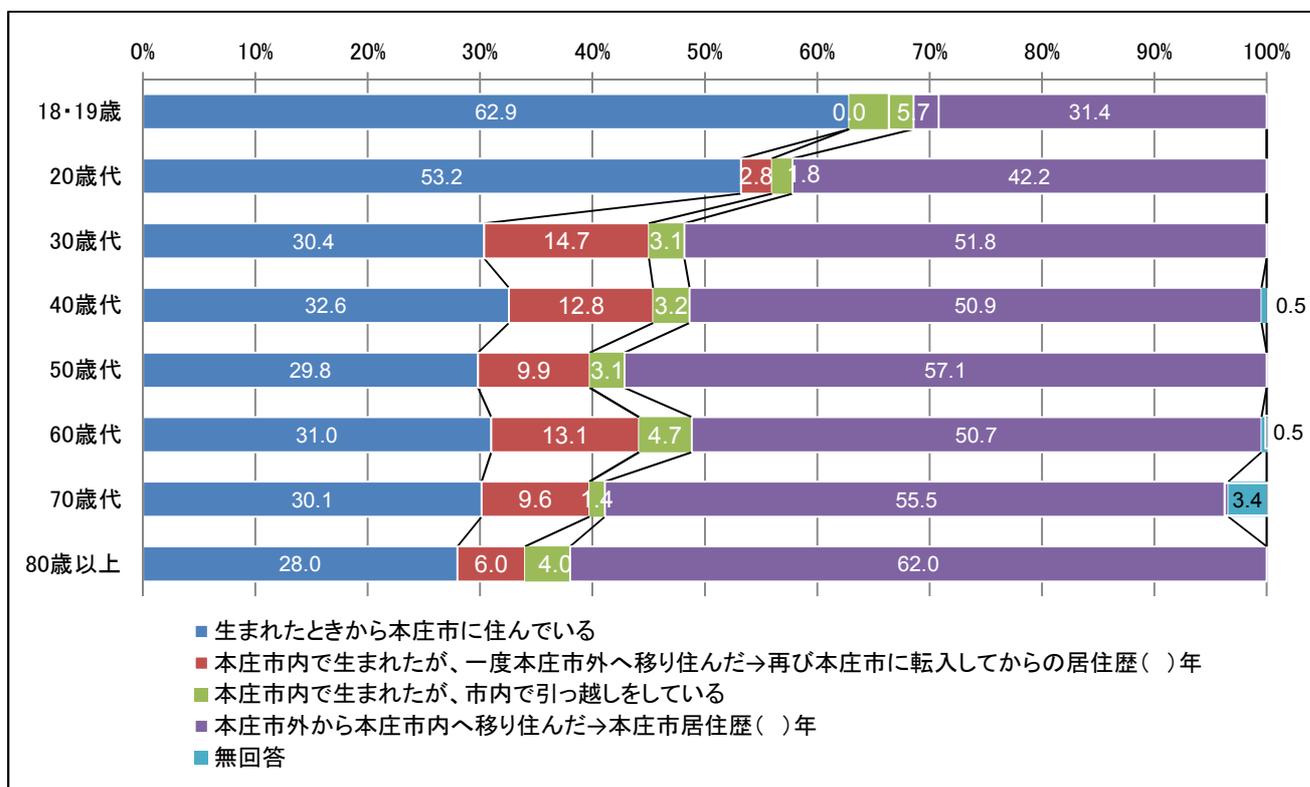
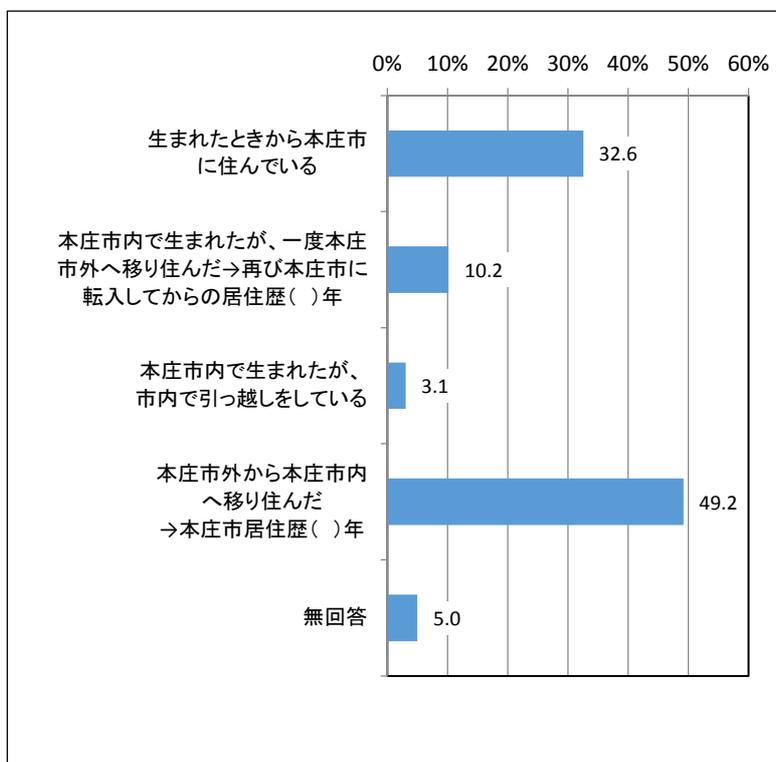
	基数	割合
ひとり暮らし(単身世帯)	216	18.3%
夫婦のみ	297	25.2%
親と子(2世代)	476	40.4%
祖父母と親と子(3世代)	94	8.0%
その他	38	3.2%
無回答	58	4.9%
回答数	1,179	100.0%



居住歴

- ・「本庄市外から本庄市内へ移り住んだ」を挙げる人が 49.2%と最も多く、次いで「生まれた時から本庄市に住んでいる」を挙げる人が 32.6%を占めています。

	基数	割合
生まれたときから本庄市に住んでいる	384	32.6%
本庄市内で生まれたが、一度本庄市外へ移り住んだ→再び本庄市に転入してからの居住歴()年	120	10.2%
本庄市内で生まれたが、市内で引っ越しをしている	36	3.1%
本庄市外から本庄市内へ移り住んだ→本庄市居住歴()年	580	49.2%
無回答	59	5.0%
回答数	1,179	100.0%



居住地区（小学校区単位）

- ・「本庄東小学校区」を挙げる人が 15.6%と最も多く、次いで「中央小学校区」を挙げる人が 11.7%を占めています。

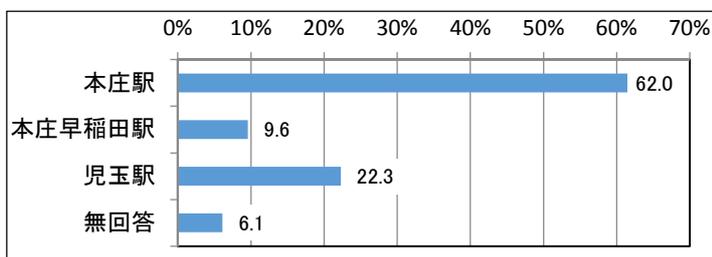
	基数	割合
本庄東小学校区	184	15.6%
本庄西小学校区	88	7.5%
藤田小学校区	45	3.8%
仁手小学校区	23	2.0%
旭小学校区	87	7.4%
北泉小学校区	96	8.1%
本庄南小学校区	107	9.1%
中央小学校区	138	11.7%
児玉小学校区	119	10.1%
金屋小学校区	82	7.0%
秋平小学校区 (本泉小学校区を含む)	41	3.5%
共和小学校区	50	4.2%
無回答	119	10.1%
回答数	1,179	100.0%



最寄り駅

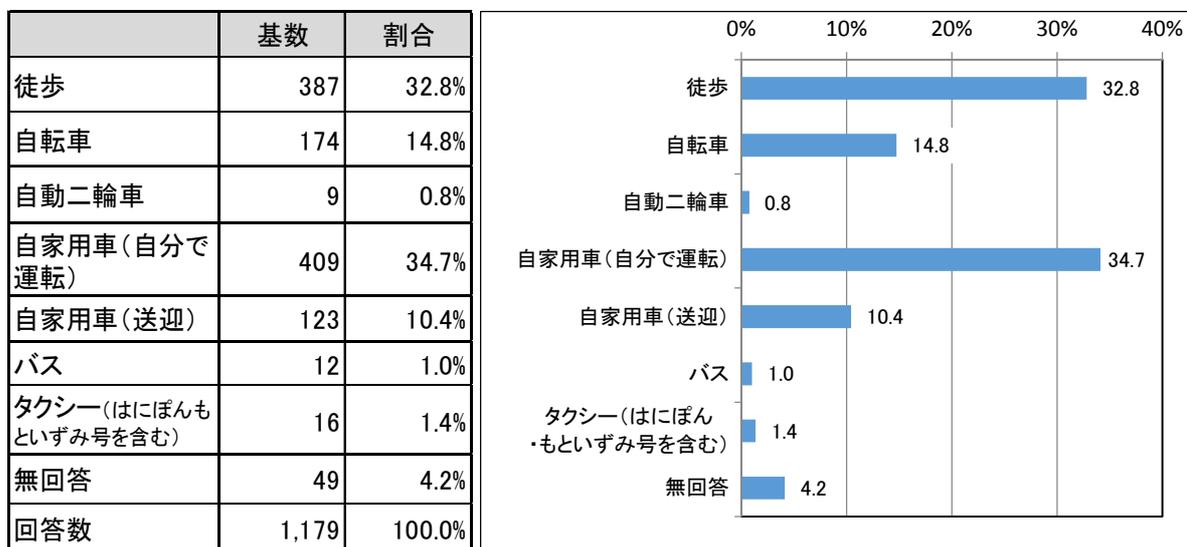
- ・「本庄駅」を挙げる人が 62.0%と最も多く、次いで「児玉駅」を挙げる人が 22.3%を占めています。

	基数	割合
本庄駅	731	62.0%
本庄早稲田駅	113	9.6%
児玉駅	263	22.3%
無回答	72	6.1%
回答数	1,179	100.0%



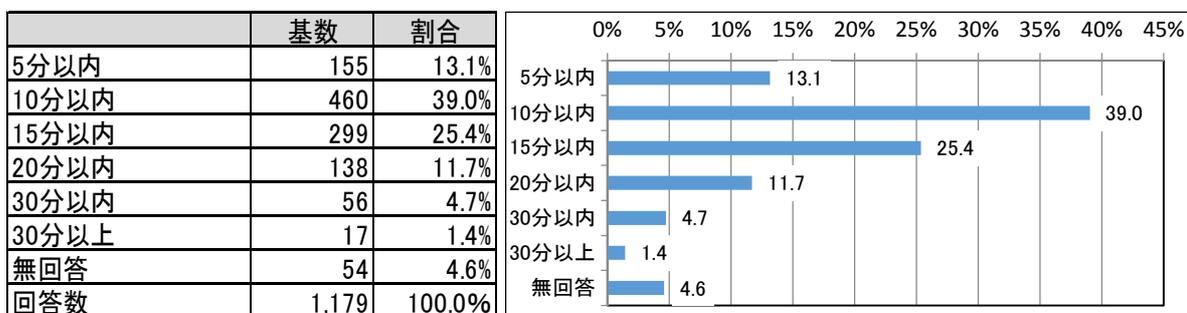
最寄り駅までの交通手段

- ・「自家用車(自分で運転)」を挙げる人が34.7%と最も多く、次いで「徒歩」を挙げる人が32.8%、「自転車」を挙げる人が14.8%を占めています。



最寄り駅までの所要時間

- ・「10分以内」を挙げる人が39.0%と最も多く、次いで「15分以内」を挙げる人が25.4%、「5分以内」を挙げる人が13.1%を占めています。
- ・「30分以上」を挙げる人は1.4%を占めています。



資料 まちづくり市民アンケート調査票

次期本庄市総合振興計画策定に向けた まちづくり市民アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃から市政に対するご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
本庄市は、平成18年1月の合併により新しく8万都市として誕生し、本年1月に合併10周年を迎えました。

これまでに市では、平成20年3月に策定しました本庄市総合振興計画に基づき、総合的かつ計画的にまちづくりを進めております。

この計画は平成29年度末で終了することから、このたび、平成30年度から始まる次期本庄市総合振興計画の策定に取り掛かることといたしました。本庄市をより暮らしやすい魅力あるまちにするため、市民の皆様の市政に対するお考えを、この機会にぜひお聞かせください。これからのまちづくりには、市民の皆様と本庄市の協働が不可欠となります。ぜひとも、アンケートを通じて、積極的に市政へご参加いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、この調査票は、市内にお住まいの満18歳以上の方2,500名を無作為に抽出してお送りいたしました。無記名でお答えいただき、統計的な処理を行いますので、個人が特定される形での公表やご回答の内容が皆様の不利益となるようなことはございません。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成28年9月 本庄市長 吉田 信解

ご回答にあたってのお願い

- このアンケートは、調査票の返送またはインターネット(専用ウェブサイト)により回答できます。
- 回答は、できるだけ宛名のご本人がお答えください。事情によりご本人様がお答えいただけない場合は、ご家族の方がお答えください。

郵送でのご回答

- ご記入の際は、同封のボールペンをご利用ください。
- お答え(自由記載欄以外)は、当てはまる番号を○で囲んでください。
設問ごとに(1つに○印)、(3つまで○印)など指定されていますのでご注意ください。
- この調査票をご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に入れて
10月3日(月)までに切手を貼らずにご投函ください。
- 調査票及び封筒には、住所・氏名をお書きにならなくて結構です。

インターネットでのご回答

- ① 下記 URL にアクセスもしくは右の QR コードからページを開き

<https://jp.surveymonkey.com/r/honjo>

共通パスワード「**honjo**」(半角小文字)を入力することで回答用ページが表示されます。

- ② 右に記載されている個別 ID (半角5桁の数字)を入力し、各設問にお答えください。

個別 ID : 1 2 3 4 5

- ・ **10月3日(月)**までにご回答ください。なお、回答は1回のみで修正はできません。調査票とインターネットの両方で回答があった場合は、調査票での回答を優先させていただきます。

問1 定住意向について

設問① あなたは、今後も本庄市に住み続けたいですか。 **(1つに○印)**

1. 今の地域にずっと住み続けたい	3. 埼玉県内の他の市町村に移り住みたい
2. 市内の別の地域に住みたい	4. 県外に移り住みたい
	5. わからない

設問①で1または2と
答えた方にお聞きします。

設問①で3または4と
答えた方にお聞きします。

設問② 住み続けたい主な理由は何ですか。 **(3つまで○印)**

1. 生まれ育った故郷であるため
2. 家族や親類が住んでいるため
3. 親しい友人・知人が多いため
4. 土地・家などがあるため
5. 職場が近いため
6. 自然環境に恵まれているため
7. 交通の便が良いため
8. 日常の買い物が便利のため
9. 生活環境が整備されているため
10. 子供の保育・教育に適しているため
11. その他 ()

設問③ 住み続けたくない主な理由は何ですか。 **(3つまで○印)**

1. 家族や親類がいないため
2. 親しい友人・知人がいないため
3. 職場が遠いため
4. 自然環境が不足しているため
5. 交通の便が悪いため
6. 日常の買い物が不便のため
7. 生活環境が整備されていないため
8. 子供の保育・教育が心配なため
9. 他に住みたい市や町があるため
10. その他 ()

設問④ もし、本庄市内で住み替えるとしたらどのような地域に住みたいですか。 **(1つに○印)**

1. 駅に近く歩いて暮らせるまちなか
2. 駅からは少し離れているが、車を使って生活ができる市街地
3. 車中心の生活だが緑豊かでゆとりある郊外部
4. 三世代同居や営農可能な郊外の農村集落

設問⑤ もし、これから本庄市内で住み替えるとしたらどのような住宅を希望しますか。

(1つに○印)

1. 一戸建 (持ち家)
2. 一戸建 (借家)
3. 二世帯住宅
4. 集合住宅 (分譲)
5. 集合住宅 (借家)
6. 公営住宅
7. その他 ()

設問⑥ もし、本庄市内で住み替えるとしたら、どのような施設がお住まいの近くにあることを重視しますか。

(5つまで○印)

1. 鉄道駅
2. バス停
3. コンビニエンスストア
4. スーパーマーケット
5. 飲食店
6. 金融機関 (銀行・郵便局等)
7. 病院
8. 診療所・クリニック
9. 薬局・ドラッグストア
10. デイサービス・デイケア
11. 幼稚園
12. 保育園
13. 学童保育所
14. 小学校・中学校
15. 公園・広場
16. 市役所の出張所
17. 地区公民館等のコミュニティ施設
18. 図書館・図書室
19. 体育館・運動場
20. その他 ()

設問⑦ 普段使う鉄道駅周辺にあると便利だと思う施設を教えてください。

(5つまで○印)

1. バスとの乗り継ぎの拠点 (待合所等)
2. コンビニエンスストア
3. スーパーマーケット
4. 飲食店
5. 金融機関 (銀行・郵便局等)
6. 病院
7. 診療所・クリニック
8. 薬局・ドラッグストア
9. デイサービス・デイケア
10. 幼稚園
11. 保育園
12. 学童保育所
13. 小学校・中学校
14. 公園・広場
15. 市役所の出張所
16. 地区公民館等のコミュニティ施設
17. 図書館・図書室
18. 体育館・運動場
19. その他 ()

問2 本庄市のまちづくりの満足度について

設問① これまでの本庄市総合振興計画（平成20年度～平成29年度）に沿って進めてきた取り組みについてこれまでの「満足度」とこれからの「重要度」をそれぞれ、5段階で評価して1つずつに○印をお付けください。

項目 記入例	これまでの満足度					これからの重要度				
	満足している	多少満足している	多少不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
1. 保育所など子育て支援が充実している	○1	2	3	4	5	○1	2	3	4	5

満足度と重要度 それぞれ1つずつ○印をつける

1. 保育所など子育て支援が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2. 住民健診や健康指導が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3. 病院や診療所など医療機関が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4. 障害者への支援体制が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5. 高齢者への生きがい対策が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6. ボランティア活動や自治会活動が活発である	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7. 人権を尊重する社会が実現されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8. 水害や地震などへの防災対策や消防・救急体制が整っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9. 街路灯など防犯の面で安心である	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10. 交通安全対策が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
11. 市の窓口サービスが向上している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
12. 学力を育む教育が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
13. 人権を尊重する教育が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
14. 小・中学校の施設・設備が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
15. 子どもから高齢者まで生涯学習が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目	これまでの満足度					これからの重要度				
	満足している	多少満足している	多少不満足している	不満足している	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要ではない	重要ではない	わからない

16. 歴史や伝統が大事にされている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
17. スポーツ・レクリエーション施設が整っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
18. 農林業の活気がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
19. 商業の活気がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
20. 工業の活気がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
21. 祭りやイベントが充実し観光客が増えている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
22. 若者が希望する働く場が充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
23. 環境に配慮した活動が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
24. ごみの収集や資源回収体制が整備されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
25. まちの景観や街並みなどが美しい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
26. 計画的なまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
27. 道路や河川が整備されている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
28. バスや鉄道などが利用しやすい	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
29. 水道の整備が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
30. 下水道(浄化槽を含む)の整備が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
31. 身近なところに公園などの遊び場や居場所がある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
32. 市の情報発信や情報公開が充実し、まちづくりへの市民参加機会がたくさんある	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
33. 市の行政改革が進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
34. 早稲田大学とまちづくりに関する連携事業によって先進的なまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
35. インターネットを利用した行政サービスが充実している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
36. 財産や公共施設が適正に管理され健全な財政運営が行われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

設問② 地方自治体を取り巻く環境が厳しさを増す中、行財政改革を進めて行く上で行政サービスと市民の負担とのバランスについて、どのようにお考えですか。 (1つに○印)

1. 負担は増えてもサービス水準は上げるべき
2. 負担は多少増えても、サービス水準を維持するべき
3. 負担は変えないこととし、結果的にサービス水準を下げるのはやむを得ない
4. 負担を減らし、サービス水準を下げるべき
5. どちらともいえない
6. その他 ()

問3 今後のまちづくりと本庄市の将来像について

設問① あなたはまちづくりにどのように関わっていきたいですか。 (1つに○印)

1. まちづくりに対して、積極的に協力していきたい
2. まちづくりに対して、状況に応じて協力していきたい
3. まちづくりに対して関心はあるが、具体的な協力は考えていない
4. まちづくりに対してあまり関心がなく、具体的な協力は考えていない
5. まちづくりに対して関心がない

設問② 本庄市では人口が減少傾向にあり、今後もさらに減少していくことが予想されています。人口減少に歯止めをかけるためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(3つまで○印)

1. 結婚を希望する人への出会いの機会を提供するなどの結婚支援策を充実すること
2. 妊娠期から乳幼児期までの医療の充実や、保育所等の子育て環境を整備すること
3. 子どもが安心して健やかに育つ社会づくりを進め、教育環境を整備すること
4. 若者や子育て世代の雇用を確保し、生活基盤を安定させること
5. 地域の活性化につながる地場産業を育成すること
6. 高齢者がいつまでも健康で活躍できる環境を整備すること
7. 観光資源の発掘やネットワーク化によって交流人口や週末人口を増加させること
8. U・J・I ターンを促進するための事業や取組み（住まいの支援など）を強化すること
9. 特にない
10. わからない
11. その他 ()

居住地区 (小学校区単位)	1. 本庄東小学校区 4. 仁手小学校区 7. 本庄南小学校区 10. 金屋小学校区 12. 共和小学校区	2. 本庄西小学校区 5. 旭小学校区 8. 中央小学校区 11. 秋平小学校区 (本泉小学校区を含む)	3. 藤田小学校区 6. 北泉小学校区 9. 児玉小学校区
最寄り駅	1. 本庄駅	2. 本庄早稲田駅	3. 児玉駅

最寄り駅 までの 交通手段	1. 徒歩 4. 自家用車(自分で運転) 7. タクシー (はにぼん号・もといずみ号を含む)	2. 自転車 5. 自家用車 (送迎)	3. 自動二輪車 6. バス
---------------------	--	------------------------	-------------------

最寄り駅 までの 所要時間	※上記の交通手段を用いた場合の所要時間をご回答ください。		
	1. 5分以内	2. 10分以内	3. 15分以内
	4. 20分以内	5. 30分以内	6. 30分以上

以上でアンケートは終了です。ご協力いただきありがとうございました。
同封のボールペンはアンケート協力記念品としてお受け取りください。

未来の本庄を創るワークショップの参加者を募集します

市では次期本庄市総合振興計画策定に向けて、市民の皆様のご意見やアイデアを伺うワークショップの開催を次の通り予定しております。

開催日程	第1回	10月23日(日)	テーマ	将来の本庄市を想像しよう
	第2回	11月13日(日)	テーマ	本庄市の「理想のまち」を共有しよう
	第3回	11月27日(日)	テーマ	理想の本庄市を実現する方法を提案しよう
いずれも 午前10時～正午				

開催場所 はにぼんプラザ 募集人数 30人程度(多数の場合抽選)
全3回のワークショップに継続してご参加いただける方は、下記に氏名・ご連絡先をご記入ください。後日、企画課政策係よりご連絡をさせていただきます。
アンケート用紙でのご記入を望まれない場合には、直接下記お問い合わせ先への電話、FAX、E-mailでのお申し込みも可能です。

氏名		住所
電話		

(ご記入いただいた個人情報は、ワークショップの目的以外には、一切使用しません。)

【お問い合わせ先】

本庄市役所 企画課政策係
電話：0495-25-1157 (直通)
FAX：0495-21-8499
E-mail：kikaku@city.honjo.lg.jp

